Ver.2.4.2
2025/04

公共測量用メタデータエディタ
操作説明書

- 詳細版 -

国土交通省　国土地理院

目次

1. 概要 1-1
1.1. システム概要 1-1
1.2. 動作環境 1-1
1.2.1. クライアント環境 1-1
1.2.2. クライアントのフォルダ構成 1-2
1.2.3. クライアントのファイル構成 1-2
2. インストール 2-1
2.1. インストール手順 2-1
3. 画面遷移 3-2
3.1. 画面遷移図 3-2
3.2. 画面一覧 3-5
4. システムの概要 4-1
4.1. 起動と終了 4-1
4.2. 画面構成 4-2
5. 基本入力モード 5-1
5.1. 基本入力モードでの入力 5-1
5.2. メタデータ基本項目入力画面 5-2
6. 詳細入力モード 6-1
6.1. 詳細入力モードでの入力 6-1
6.2. メタデータ作成開始画面 6-2
6.3. データの概要画面 1 (データの概要：概要画面) 6-3
6.4. データの概要画面 2 (データの概要：主題分類画面) 6-4
6.5. データの概要画面 3 (データの概要：その他の項目の選択画面) 6-5
6.6. データの概要画面 4 (データの概要：目的と状態画面) 6-6
6.7. データの概要画面 5 (データの概要：概要の図示画面) 6-7
6.8. データの概要画面 6 (データの概要：記述的キーワード画面) 6-8
6.9. データの概要画面 7 (データの概要：利用制限画面) 6-9
6.10. データの概要画面 8 (データの概要：空間解像度画面) 6-10
6.11. データの整備範囲画面 1 (データの整備範囲：整備範囲の緯度経度情報画面) .. 6-11
6.12. データの整備範囲画面 2 (データの整備範囲：その他の項目の選択画面) 6-13
6.13. データの整備範囲画面 3 (データの整備範囲：整備範囲に関する情報画面) . 6-14
6.14. データの整備範囲画面 4 (データの整備範囲：時間要素画面) 6-15
6.15. データの整備範囲画面 5 (データの整備範囲：垂直要素画面) 6-16

6.16. お問合せ先画面 1 (お問合せ先：メタデータのお問合せ先画面) 6-17
6.17. お問合せ先画面 2 (お問合せ先：入力有無の選択画面) 6-18
6.18. お問合せ先画面 3 (お問合せ先：データのお問合せ先画面).....6-19
6.19. データの座標参照系画面 1 (データの座標参照系：入力有無の選択画面) 6-20
6.20. データの座標参照系画面 2 (データの座標参照系：参照系画面) 6-21
6.21. データの配布情報画面 1 (データの配布情報：項目の選択画面) 6-23
6.22. データの配布情報画面 2 (データの配布情報：書式画面) 6-24
6.23. データの配布情報画面 3 (データの配布情報：オンライン配布画面).....6-25
6.24. データの配布情報画面 4 (データの配布情報：オフライン配布画面).....6-26
6.25. データの品質情報画面 1 (データの品質情報：項目の選択画面) 6-27
6.26. データの品質情報画面 2 (データの品質情報：レベル画面).....6-28
6.27. データの品質情報画面 3 (データの品質情報：適用範囲画面).....6-29
6.28. データの品質情報画面 4 (データの品質情報：適用範囲に関する情報画面) .6-31
6.29. データの品質情報画面 5 (データの品質情報：時間要素画面).....6-32
6.30. データの品質情報画面 6 (データの品質情報：垂直要素画面).....6-33
6.31. データの品質情報画面 7 (データの品質情報：報告画面) 6-34
6.32. データの品質情報画面 8 (データの品質情報：系譜画面) 6-35
6.33. メタデータ情報画面 1 (メタデータの情報：メタデータ規格画面) 6-36
6.34. メタデータ情報画面 2 (メタデータの情報：その他の情報画面) 6-37
6.35. メタデータ作成完了画面 6-38
6.36. チェック結果画面 6-39
6.37. レイアウト印刷画面 6-40
7. 各種機能 7-1
7.1. 新規作成.....7-1
7.2. 元に戻す/やり直す.....7-2
7.3. メタデータチェック 7-3
7.4. JMP2.0 の再編集.....7-4
7.5. CSV ファイルを開く.....7-5
7.6. 測量情報管理ファイルインポート.....7-6
7.7. 保存 7-7
7.8. 印刷 7-9
8. 各項目解説.....8-1
8.1. 各画面入力項目.....8-1
8.1.1. 基本項目入力 8-1
8.1.2. データの概要:概要 8-2
8.1.3. データの概要:主題分類.....8-3

8.1.4. データの概要:目的と状態 8-3
8.1.5. データの概要:概要の図示 8-3
8.1.6. データの概要:記述的キーワード.....8-4
8.1.7. データの概要:利用制限.....8-4
8.1.8. データの概要:空間解像度 8-4
8.1.9. データの整備範囲:整備範囲の緯度経度情報 8-5
8.1.10. データの整備範囲:整備範囲に関する情報 8-6
8.1.11. データの整備範囲:時間要素.....8-7
8.1.12. データの整備範囲:垂直要素.....8-7
8.1.13. お問合せ先:メタデータのお問合せ先.....8-8
8.1.14. お問合せ先:データのお問合せ先 8-9
8.1.15. データの座標参照系:参照系情報 8-10
8.1.16. データの配布情報:書式 8-10
8.1.17. データの配布情報:オンライン配布 8-10
8.1.18. データの配布情報:オフライン配布 8-11
8.1.19. データの品質情報:レベル 8-11
8.1.20. データの品質情報:適用範囲.....8-11
8.1.21. データの品質情報:適用範囲に関する情報 8-13
8.1.22. データの品質情報:時間要素.....8-13
8.1.23. データの品質情報:垂直要素.....8-14
8.1.24. データの品質情報:報告 8-15
8.1.25. データの品質情報:系譜 8-16
8.1.26. メタデータの情報:メタデータ規格 8-16
8.1.27. メタデータの情報:その他の情報 8-16
8.2. 測量情報管理ファイル(survey.xml)項目対応 8-17
9. FAQ よくある質問 9-19
9.1. FAQ 集 9-19

1. 概要

1.1. システム概要

メタデータエディタ Ver2.4（以下、本システムと称す場合があります）は、公共測量成果として JMP2.0 形式のメタデータを作成するためのツールです。メタデータ作成の手間を最低限にするよう、基本入力モードと詳細入力モードの二つの入力方法を選択できます。

基本入力モードでは公共測量成果として最低限必要な項目のみを入力することができます。また、詳細入力モードでは、システムと対話的に入力ができるよう、ウィザード方式を採用しました。ウィザードを使って JMP2.0 の階層構造を意識することなく値を入力していくことができます。また、ウィザードに不慣れなユーザや、特定の項目のみを入力したいユーザを意識し、ツリー選択による入力も可能としています。

1.2. 動作環境

1.2.1. クライアント環境

メタデータエディタは下記の動作環境で利用可能です。

表 1.2-1 動作環境

環境	条件
OS	Windows10、Windows11
CPU	1 Ghz 以上のマイクロプロセッサまたはシステム・オン・チップ
メモリ	32 ビット版 OS では 1GB 以上、64 ビット版では 2GB 以上
ハードディスク空き容量	100MB 以上 （アプリケーションにより作成するデータを除く）
ミドルウェア	Microsoft .NET Framework4.6.2 互換機能が有効化されていること ※.NET Framework4.6.2 以前には対応していません

メタデータエディタは、.NET Framework4.6.2 を用いて開発されています。そのため、OS において無効化されている場合は、別途「.NET Framework 4.6 Advanced Services」、「.NET Framework 4.7 Advanced Services」、「.NET Framework 4.8 Advanced Services」機能いずれかを有効にする必要があります。詳しくは OS のヘルプ等をご参照ください。

1.2.2. クライアントのフォルダ構成

Zip ファイルをダウンロードして展開して下さい。

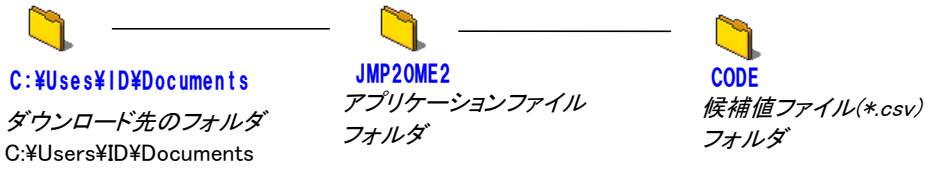


図 1-1 メタデータエディタフォルダ構成

1.2.3. クライアントのファイル構成

メタデータエディタの各ファイルについて説明します。

表 1.2-2　メタデータエディタファイル一覧

フォルダ名	ファイル名	内容
JMP20ME2	Code.xsl	印刷用コード値置き換えファイル
	format.csv	外部設定ファイル
	jmp20.xsd	JMP2.0 スキーマファイル
	JMP20RW.dll	アプリケーション補助モジュール
	MetadataEditor.exe	アプリケーション本体
	MetadataEditor.exe.config	アプリケーションコンフィグファイル
	origin.xml	外部設定 XML 雛形
	print.xsl	印刷用スタイルシート
CODE	CC_CoordinateDate.csv	座標値典拠(日付)関連定義ファイル
	CC_CoordinateDateType.csv	座標値典拠(日付型)関連定義ファイル
	CC_CoordinateTitle.csv	座標値典拠(タイトル)関連定義ファイル
	CC_VerticalDatumDate.csv	垂直原子典拠(日付)関連定義ファイル
	CC_VerticalDatumDateType.csv	垂直原子典拠(日付型)関連定義ファイル
	CC_VerticalDatumTitle.csv	垂直原子典拠(タイトル)関連定義ファイル
	CI_CountryCode.csv	国コードリスト
	CI_DateTypeCode.csv	日付型コードリスト
	CI_RoleCode.csv	役割コードリスト
	dqResultPassCode.csv	結果コードリスト
	DQ_MethodDescription.csv	評価手法の記述リスト

フォルダ名	ファイル名	内容
	DQ_SpecificTitle.csv	測量に使用した作業規定・製品仕様リスト
	DQ_TypeOfQualityEvaluationCode.csv	データ品質要素型リスト
	Etc_MessageRepracingRule.csv	システムメッセージリスト
	EX_AuthorityDate.csv	典拠の日付リスト
	EX_AuthorityTitle.csv	典拠のタイトルリスト
	EX_CoordinateCode.csv	緯度経度コードリスト
	EX_CoordinateHorizontalCode.csv	緯度経度平面直角コードリスト
	EX_ExTypeCode.csv	範囲型符号
	EX_HorizontalCode.csv	平面直角コードリスト
	MD_AddressCity.csv	市町村リスト
	MD_AddressPref.csv	都道府県リスト
	MD_BrowseGraphicType.csv	ファイル型リスト
	MD_CharacterSetCode.csv	文字集合コードリスト
	MD_KeywordTypeCode.csv	キーワード型コードリスト
	MD_LanguageCode.csv	言語コードリスト
	MD_MediumNameCode.csv	媒体名コードリスト
	MD_ProgressCode.csv	状態コードリスト
	MD_Purpose.csv	目的リスト
	MD_ScopeCode.csv	レベルコードリスト
	MD_SpatialRepresentationTypeCode.csv	空間表現型コードリスト
	MD_TopicCategoryCode.csv	主題分類コードリスト
	SC_VerticalDatum.csv	垂直原子リスト
	UoMNameCode.csv	単位名称リスト
	UoMNameCode_Length.csv	垂直原子単位名称リスト
	UoMType.csv	単位種類リスト

2. インストール

本システムは、Windows10 のデフォルトである.NET Framework4.6 以降で、サポート中の.NET Framework4.6.2 を使って作成されています(Ver.2.4 リリース時点)。そのため、本システムを動作させるには、別途.NET Framework4.6.2 互換機能の有効化が必要になります。

2.1. インストール手順

本システムをインストールするには、Zip ファイルをダウンロードして解凍します。

① 国土地理院のサイトから JMP20ME24.zip をダウンロードします。
【公共測量用メタデータエディタ、ダウンロードページ】
https://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/public/seihinsiyou/meta-editor.html

② ダウンロードされた JMP20ME24.zip を適当なディレクトリに展開します。

③ 展開により生成された JMP20ME24 フォルダをインストール行いたい場所に移動します。（例 C:¥ JMP20ME24）

④ インストールは以上で完了となります。

⑤ アンインストールは「③で移動したフォルダ」を削除して下さい。レジストリは使用しておりません。

3. 画面遷移

3.1. 画面遷移図

基本入力モードの画面遷移は、メタデータ基本項目入力画面から構成されます。

詳細入力モードの画面遷移は、メタデータ作成開始画面、データの概要画面 1～8、データの整備範囲画面 1～5、お問合せ先画面 1～3、データの座標参照系画面 1,2、データの配布情報画面 1～4、データの品質情報画面 1～8、メタデータ情報画面 1,2、メタデータ作成完了画面から構成されます。各画面は下記の遷移関係で動作します。

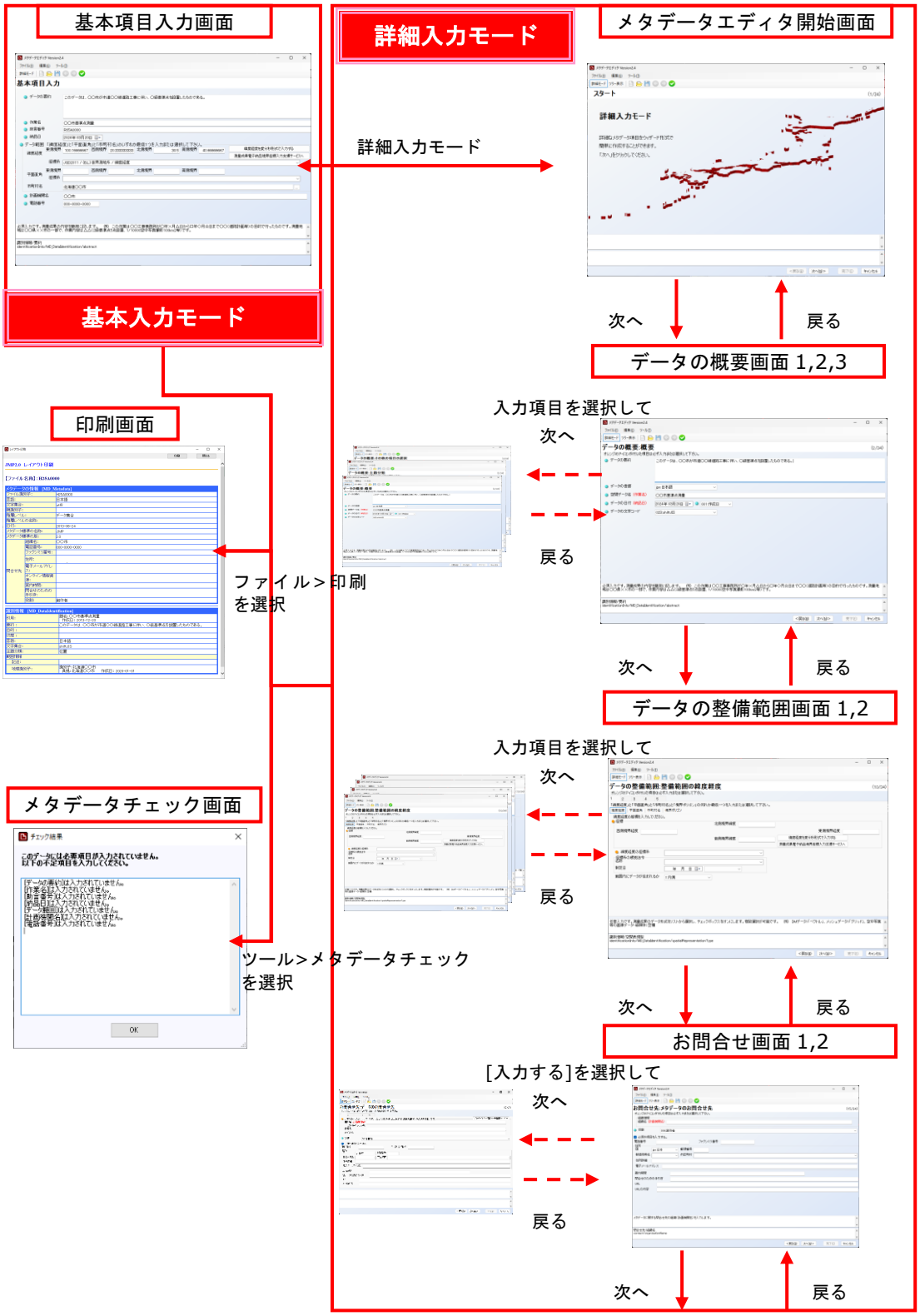


図　3.1-1 画面遷移図(1/2)

図　3.1-2 画面遷移図（2/2）

3.2. 画面一覧

メタデータエディタは以下の画面一覧で作成されています。

表 3.2-1　画面一覧

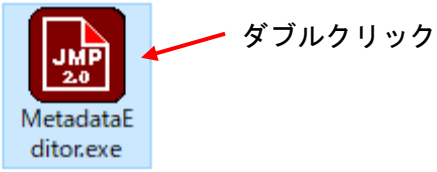
機能区分	画面 ID	画面名	画面内容
JMP2.0 作成機能	G02-01-01	メタデータ基本項目入力画面	メタデータ基本項目入力画面
	G02-02-01	メタデータ作成開始画面	メタデータ作成開始画面
	G02-03-01	データの概要画面 1	データの概要：概要画面
	G02-03-02	データの概要画面 2	データの概要：主題分類画面
	G02-03-03	データの概要画面 3	データの概要：その他の項目画面
	G02-03-04	データの概要画面 4	データの概要：目的と状態画面
	G02-03-05	データの概要画面 5	データの概要：概要の図示画面
	G02-03-06	データの概要画面 6	データの概要：記述的キーワード画面
	G02-03-07	データの概要画面 7	データの概要：利用制限画面
	G02-03-08	データの概要画面 8	データの概要：空間解像度画面
	G02-04-01	データの整備範囲画面 1	データの整備範囲：整備範囲の緯度経度情報画面
	G02-04-02	データの整備範囲画面 2	データの整備範囲：その他の項目の選択画面
	G02-04-03	データの整備範囲画面 3	データの整備範囲：整備範囲に関する情報画面
	G02-04-04	データの整備範囲画面 4	データの整備範囲：時間要素画面
	G02-04-05	データの整備範囲画面 5	データの整備範囲：垂直要素画面
	G02-05-01	お問合せ先画面 1	お問合せ先：メタデータのお問合せ先画面
	G02-05-02	お問合せ先画面 2	お問合せ先：入力有無の選択画面
	G02-05-03	お問合せ先画面 3	お問合せ先：データのお問合せ先画面
	G02-06-01	データの座標参照系画面 1	データの座標参照系：入力有無の選択画面
	G02-06-02	データの座標参照系画面 2	データの座標参照系：参照系画面
	G02-07-01	データの配布情報画面 1	データの配布情報：項目の選択画面
	G02-07-02	データの配布情報画面 2	データの配布情報：書式画面

機能区分	画面 ID	画面名	画面内容
	G02-07-03	データの配布情報画面 3	データの配布情報：オンライン配布画面
	G02-07-04	データの配布情報画面 4	データの配布情報：オフライン配布画面
	G02-08-01	データの品質情報画面 1	データの品質情報：項目の選択画面
	G02-08-02	データの品質情報画面 2	データの品質情報：レベル画面
	G02-08-03	データの品質情報画面 3	データの品質情報：適用範囲画面
	G02-08-04	データの品質情報画面 4	データの品質情報：適用範囲に関する情報画面
	G02-08-05	データの品質情報画面 5	データの品質情報：時間要素画面
	G02-08-06	データの品質情報画面 6	データの品質情報：垂直要素画面
	G02-08-07	データの品質情報画面 7	データの品質情報：報告画面
	G02-08-08	データの品質情報画面 8	データの品質情報：系譜画面
	G02-09-01	メタデータ情報画面 1	メタデータの情報：メタデータ規格画面
	G02-09-02	メタデータ情報画面 2	メタデータの情報：その他の情報画面
	G02-10-01	メタデータ作成完了画面	メタデータ作成完了画面
メタデータチェック機能	G03-01	メタデータチェック結果画面	チェック結果画面
印刷機能	G03-02	レイアウト印刷画面	レイアウト印刷画面

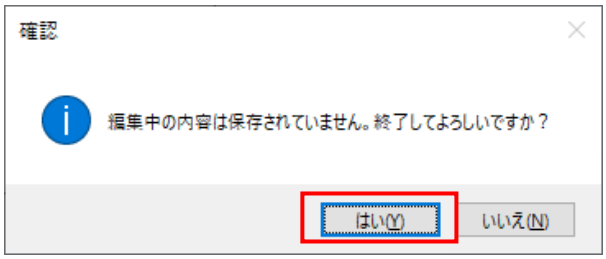
4. システムの概要

4.1. 起動と終了

インストールしたフォルダに存在する「MetadataEditor.exe」ダブルクリックすると、メタデータエディタが起動します。



終了時は、右上の×ボタンをクリックするか、詳細入力モード時に表示される[キャンセル]ボタンをクリックします。編集した内容が保存されていない場合は、確認メッセージが表示されます。メッセージで[はい]を選択すると、本システムが終了します。[いいえ]を選択すると、本システムに戻ります。



4.2. 画面構成

本システムは、次の要素で構成されています。

各要素の詳しい内容は、５章以降をご参照ください。

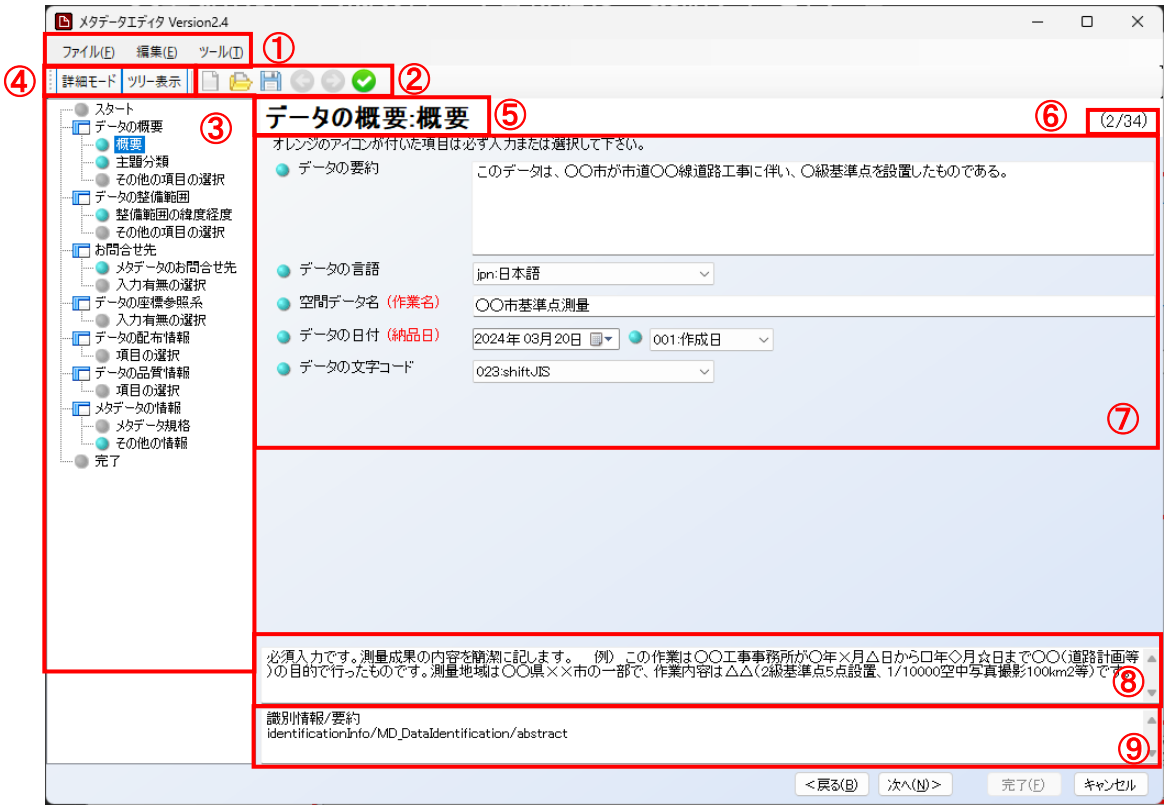


図　4.2-1　画面構成

表 4.2-1　画面構成についての説明

項番	項目名	説明
①	メニューバー	ここから、各種機能を選択して実行します。
②	ツールバー	よく使うと想定される機能がアイコンで配置されます。
③	ツリー	画面の一覧がツリー表示されます。 ：未入力の必須項目あり ：すべての必須項目の入力が終了 なし：任意項目
④	[詳細モード]ボタン	「基本入力モード」と「詳細入力モード」を切り替えるためのボタンです。
	[ツリー表示]ボタン	「ツリー」を表示するためのボタンです。 ※詳細入力モードの時だけ表示されます。
⑤	分類名	各ページの「大分類名：中分類名」が表示されます。基本項目入力画面では、「基本項目入力」が表示されます

項番	項目名	説明
⑥	ページ数	「現在の画面番号/全体の画面数」が表示されます。
⑦	項目入力欄	メタデータの各項目の入力欄が表示されます。 ：未入力の必須項目 ：入力済みの必須項目 なし：任意項目
⑧	説明	選択中の入力欄についての説明や入力例が表示されます。入力の際の参考にしてください。
⑨	タブ名	選択中の入力欄について、JMP2.0 における正式な項目名および XML タグ名が表示されます。

5. 基本入力モード

5.1. 基本入力モードでの入力

メタデータエディタを起動すると、[メタデータ基本項目入力画面]が表示されます。起動時の状態を「基本入力モード」と呼びます。

基本入力モードでは、メタデータに最低限必要な項目のみを入力することができます。簡易に JMP2.0 を作成したいユーザに適しています。メタデータ基本項目入力画面の内容を入力後、保存を実行することで、JMP2.0 形式のメタデータとして保存することができます。

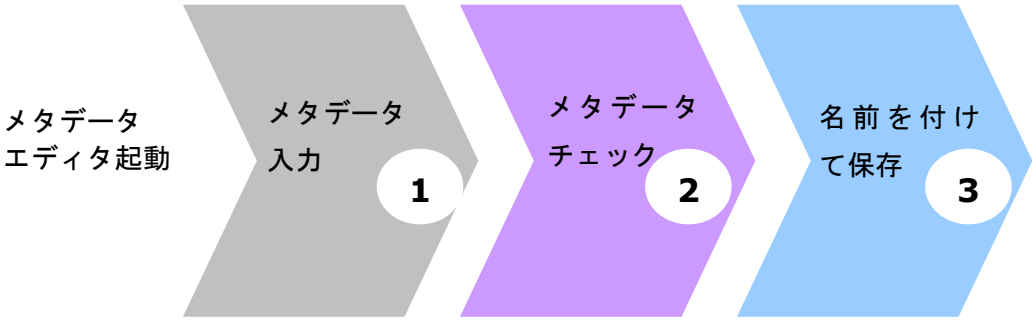


図　5.1-1　基本入力モードでのメタデータ作成フロー

5.2. メタデータ基本項目入力画面

メタデータエディタの起動時の画面（基本入力モード）です。最小限の情報のみ入力が可能です。

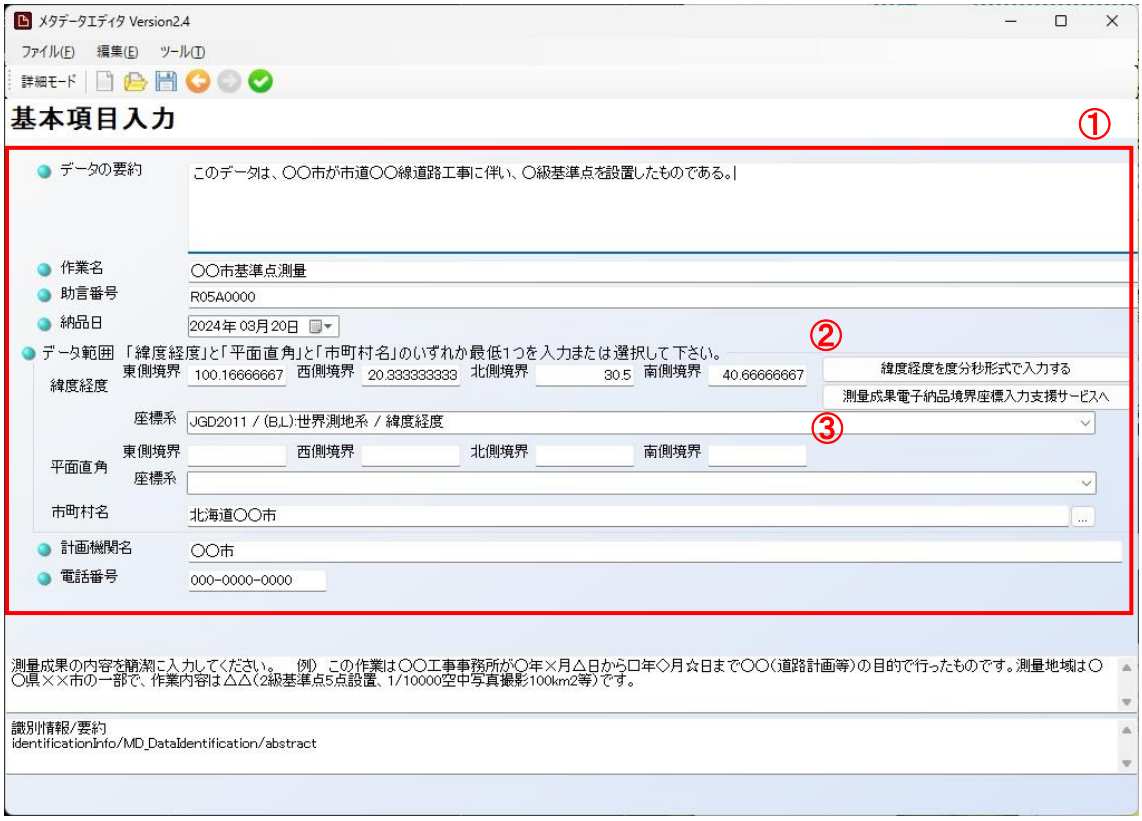
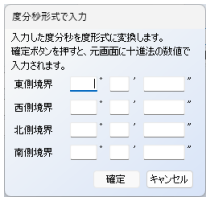


表 5.2-1 基本項目入力画面の構成

項番	項目名	説明
①	基本項目入力欄	メタデータ作成に最小限必要な項目が記載されています。各項目の詳細については「8.1.1 基本項目入力」をご参照ください。
②	[経度緯度も分秒形式で入力する]ボタン	度分秒形式で入力が行えるダイアログボックスが起動します。  DD°MM′SS.SSSS″形式にて入力
③	[測量成果電子納品境界座標入力支援サービスへ]ボタン	ブラウザが起動し、測量成果電子納品境界座標入力支援サービス(https://www.gsi.go.jp/KOUKYOU/sokuryosidou41017.html)のページが開きます。

6. 詳細入力モード

6.1. 詳細入力モードでの入力

メタデータ基本項目入力画面で、[詳細モード]ボタンを押下すると、メタデータウィザードに切り替わります。このメタデータウィザードを「詳細入力モード」と呼びます。

詳細入力モードでは、ウィザードに従ってメタデータの詳細項目毎にページ分けされた項目に値を埋めていきます。基本的なワークフローでは、JMP2.0 の必須項目を入力していきますが、必須項目以外で値を入力したい場合は、項目選択ページや入力の有無確認ページで入力したい項目を任意に選択します。最後のページではメタデータチェックが実行されます。[完了]ボタンを押下すると、保存画面が表示されます。

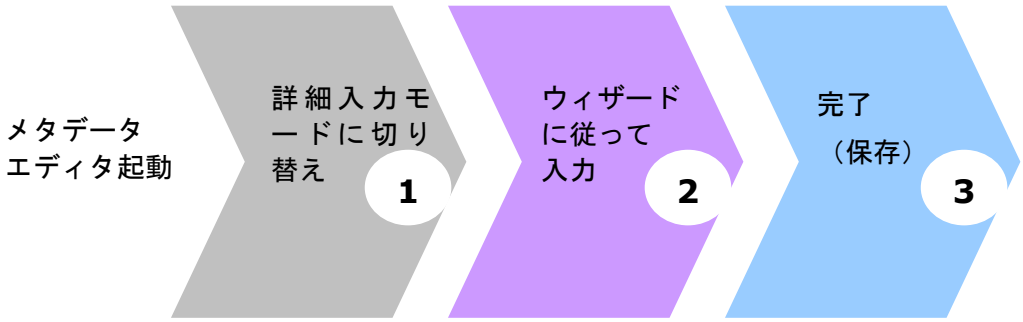
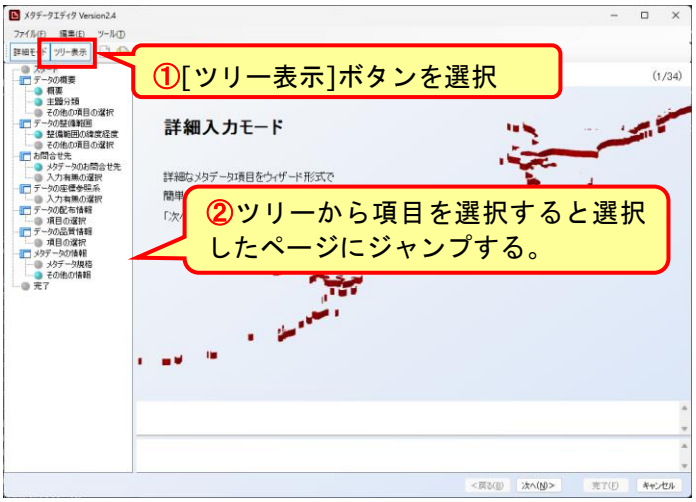


図　6.1-1　詳細入力モードでのメタデータ作成フロー

※ウィザードに関係なく、特定の項目のページを表示したい場合はツリー表示を利用します。



6.2. メタデータ作成開始画面

詳細入力モードの開始画面です。

図 6.2-1 メタデータ作成開始画面

表 6.2-1 メタデータ作成開始画面の構成

項番	項目名	説明
①	スタート欄	基本モード時に詳細モードボタンをはじめてクリックした際に遷移します。メタデータエディタウィザードについての説明が記載されています。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面「データの概要画面 1」に遷移します。
③	[戻る]ボタン	グレーアウトしていて、選択できません。
④	[キャンセル]ボタン	クリックすると、画面を閉じます。

6.3. データの概要画面 1 (データの概要：概要画面)

概要を入力する画面です。

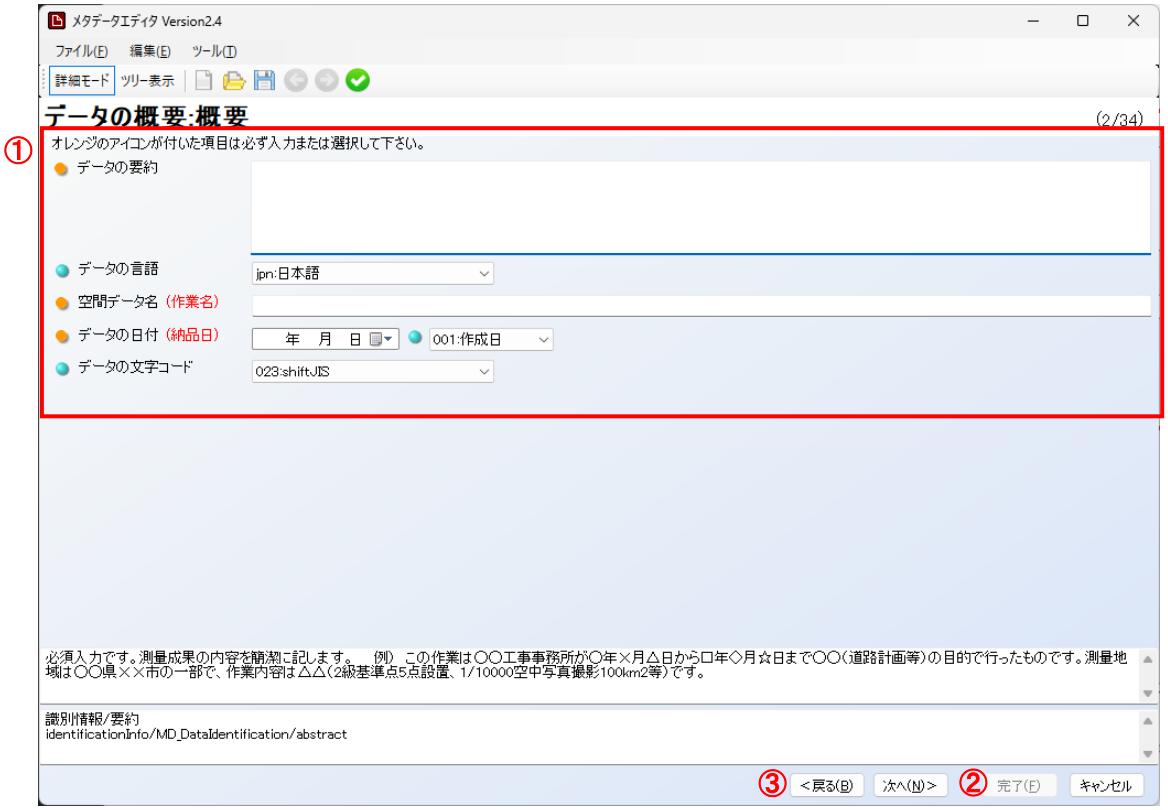


図 6.3-1 データの概要画面 1

表 6.3-1 データの概要画面 1 の構成

項番	項目名	説明
①	概要入力欄	[メタデータ作成開始画面]から遷移します。データの概要を入力します。各項目の詳細については「8.1.2 データの概要:概要」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面[データの概要画面 2]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面[メタデータ作成開始画面]に戻ります。

6.4. データの概要画面 2 (データの概要：主題分類画面)

主題分類を入力する画面です。

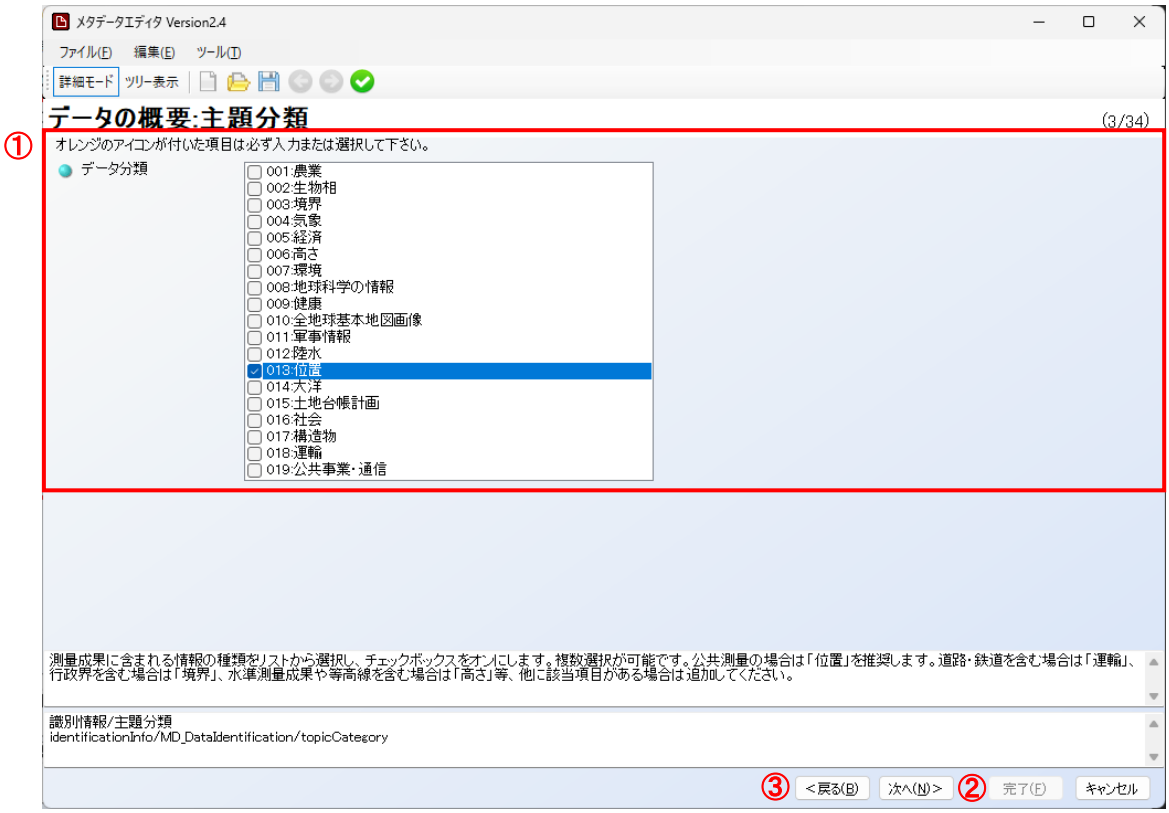


図 6.4-1 データの概要画面 2

表 6.4-1 データの概要画面 2 の構成

項番	項目名	説明
①	主題分類入力欄	[データの概要画面 1]から遷移します。データの主題分類を入力します。各項目の詳細については「8.1.3 データの概要:主題分類」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面[データの概要画面 3]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面[データの概要画面 1]に戻ります。

6.5. データの概要画面 3 (データの概要：その他の項目の選択画面)

データの概要のその他項目のうち、入力する項目を選択する画面です。

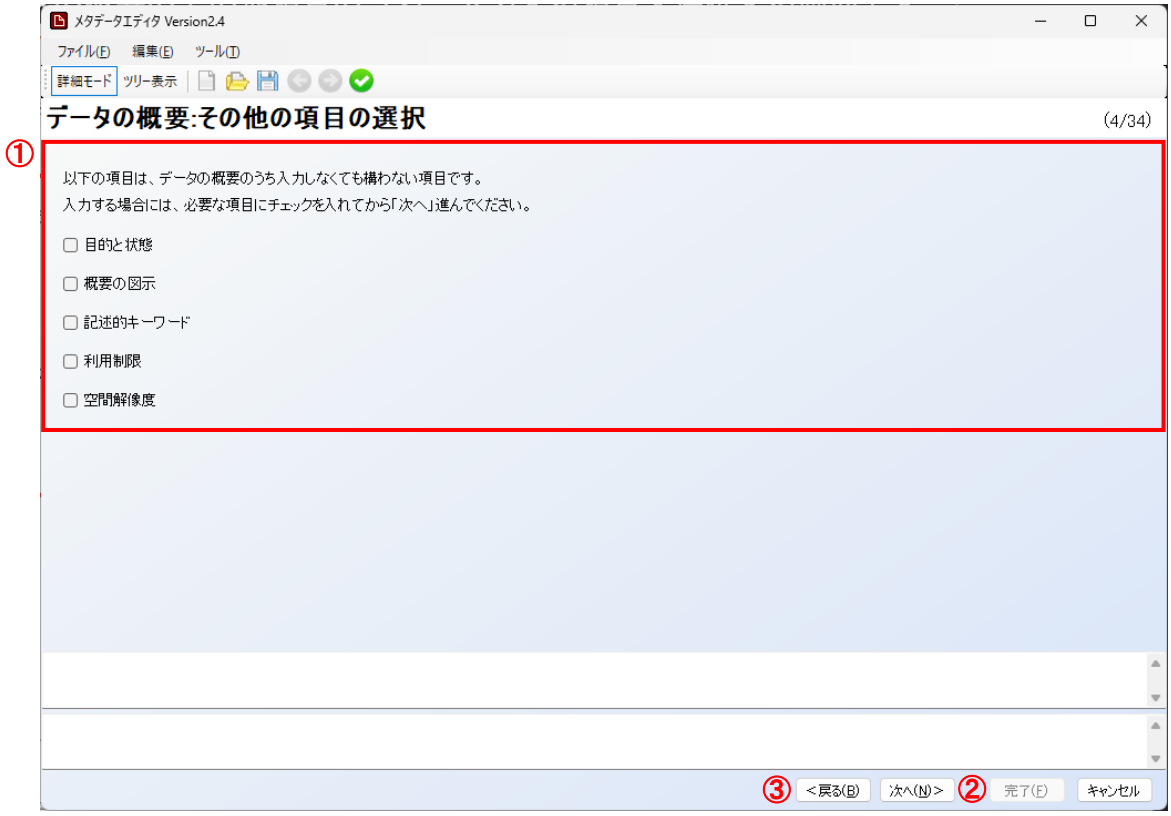


図 6.5-1 データの概要画面 3

表 6.5-1 データの概要画面 3 の構成

項番	項目名	説明
①	その他の項目選択欄	[データの概要画面 2]から遷移します。入力する分類名をチェックボックスで選択します。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、その他の項目選択欄で、チェックボックスがオンになっている画面に遷移します。複数のチェックボックスがオンになっている場合は、最上位にある項目の入力画面に遷移します。チェックボックスをオンにした画面が無い場合は、[データの整備範囲画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面、[データの概要画面 2]に戻ります。

6.6. データの概要画面 4 (データの概要：目的と状態画面)

データの目的と状態を入力する画面です。

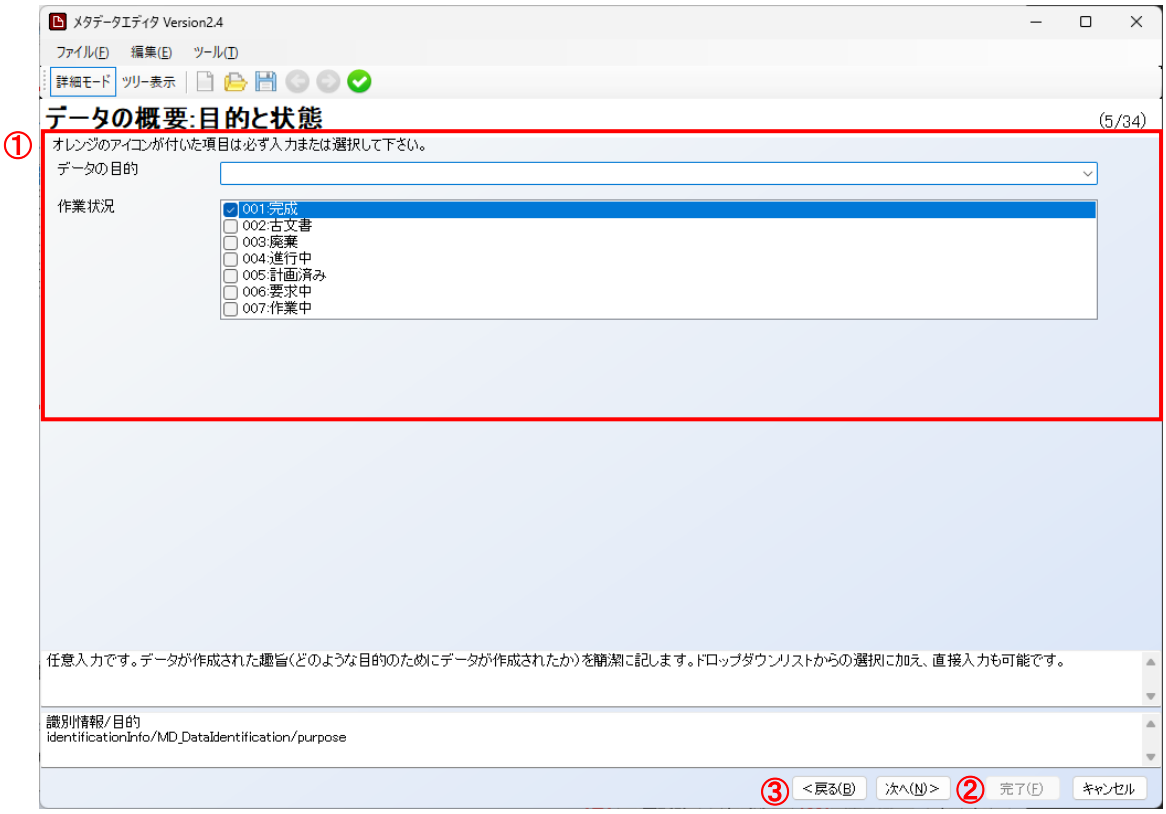


図 6.6-1 データの概要画面 4

表 6.6-1 データの概要画面 4 の構成

項番	項目名	説明
①	目的と状態入力欄	[データの概要画面 3]から遷移します。データの目的と状態を入力します。各項目の詳細については「8.1.4 データの概要:目的と状態」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（その他の項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[データの整備範囲画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.7. データの概要画面 5 (データの概要：概要の図示画面)

概要の図示情報を入力する画面です。

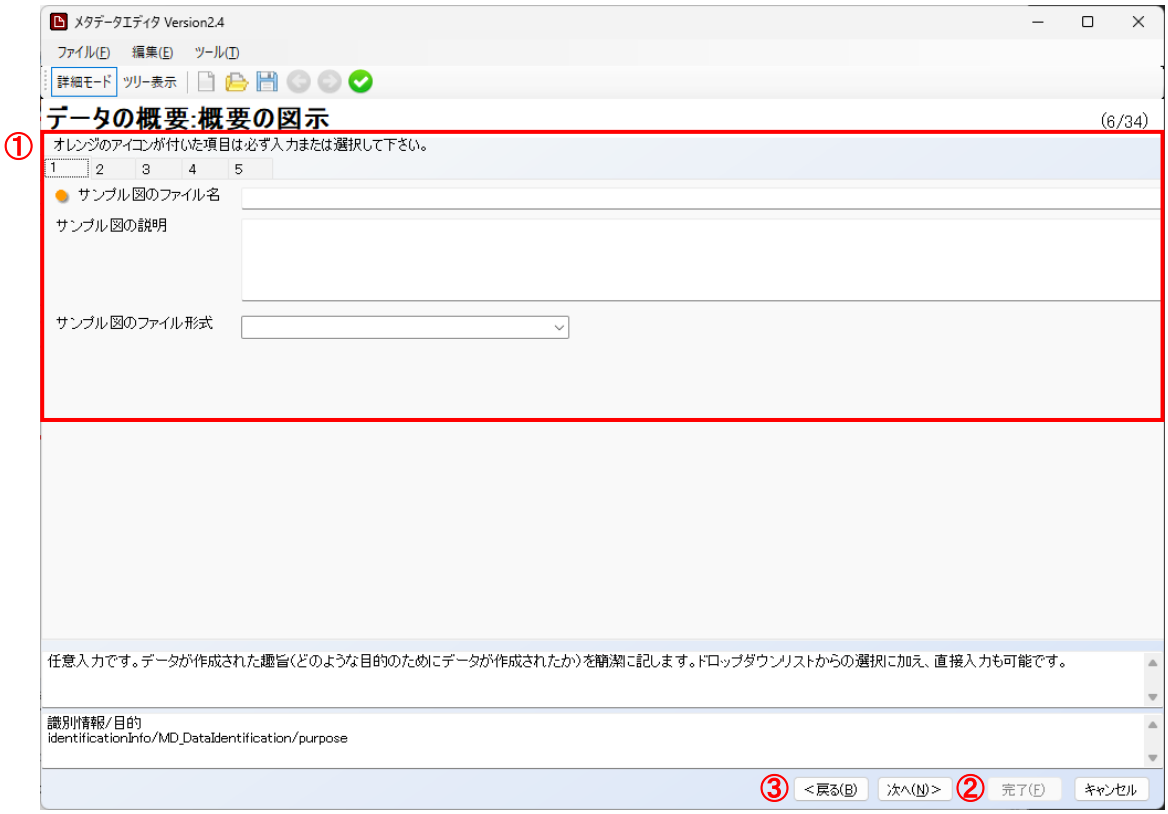


図 6.7-1 データの概要画面 5

表 6.7-1 データの概要画面 5 の構成

項番	項目名	説明
①	概要の図示入力欄	前の画面から遷移します。データの概要の図示を入力します。各項目の詳細については「8.1.5 データの概要:概要の図示」をご参照ください。 サンプル図が複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別のサンプル図情報を入力することができる。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（その他の項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[データの整備範囲画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.8. データの概要画面 6 (データの概要：記述的キーワード画面)

記述的キーワードを入力する画面です。

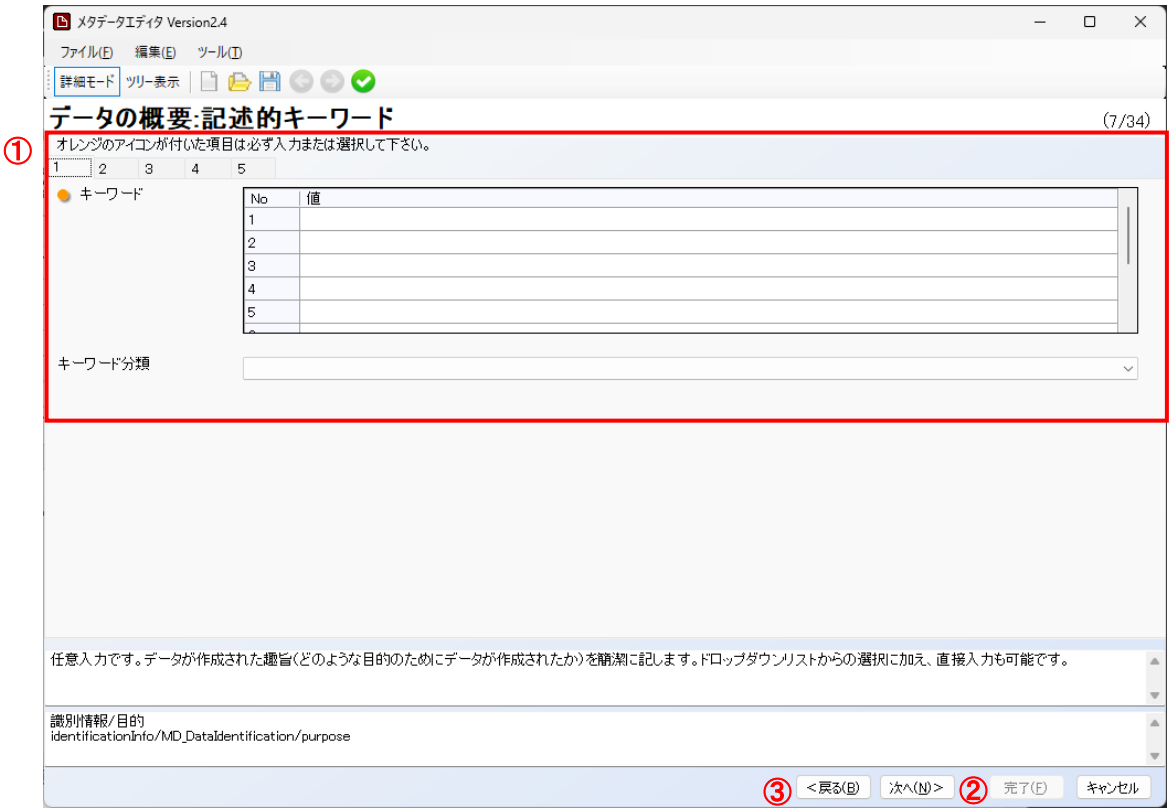


図 6.8-1 データの概要画面 6

表 6.8-1 データの概要画面 6 の構成

項番	項目名	説明
①	キーワードの入力欄	前の画面から遷移します。データのキーワードを入力します。各項目の詳細については「8.1.6 データの概要:記述的キーワード」をご参照ください。 キーワードが複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別のキーワード情報を入力することができます。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（その他の項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[データの整備範囲画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.9. データの概要画面 7 (データの概要：利用制限画面)

データの利用制限を入力する画面です。

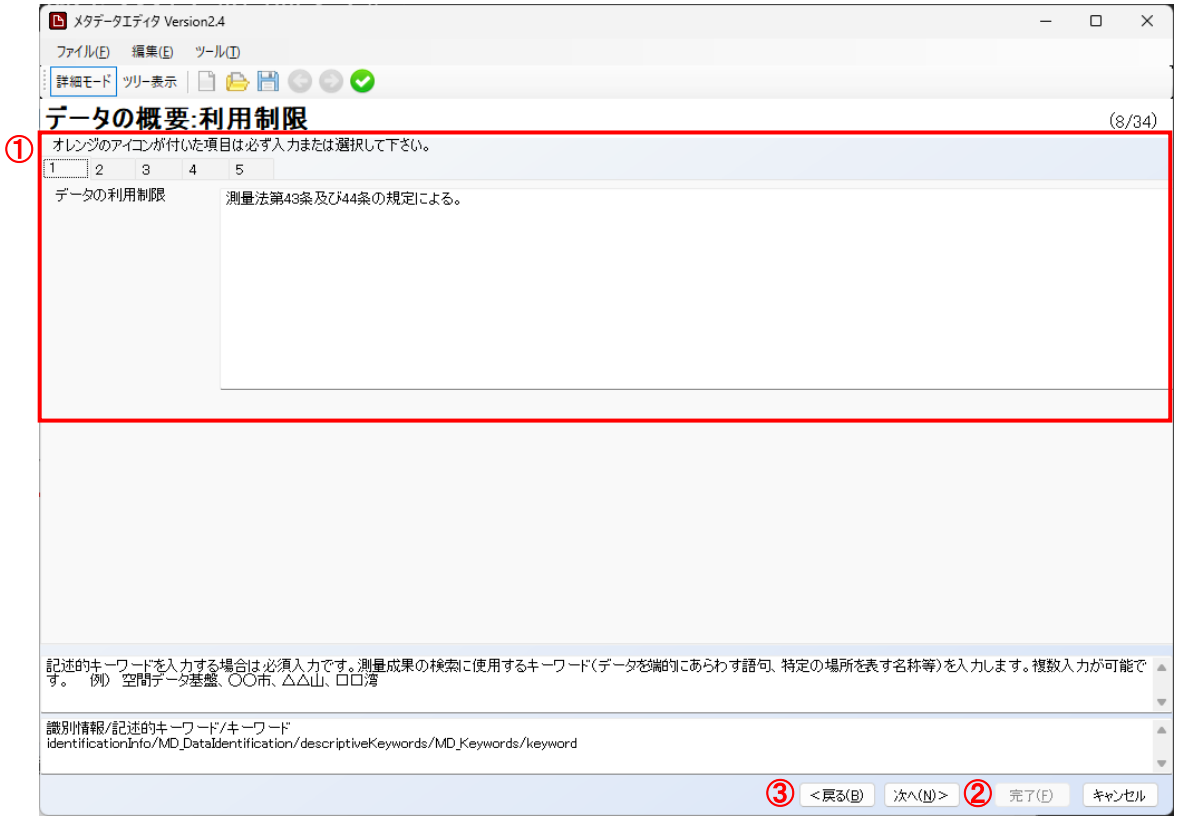


図 6.9-1 データの概要画面 7

表 6.9-1 データの概要画面 7 の構成

項番	項目名	説明
①	利用制限の入力欄	前の画面から遷移します。データの利用制限を入力します。各項目の詳細については「8.1.7 データの概要:利用制限」をご参照ください。 利用制限が複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別の利用制限情報を入力することができます。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（その他の項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[データの整備範囲画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.10. データの概要画面 8 (データの概要：空間解像度画面)

空間解像度を入力する画面です。

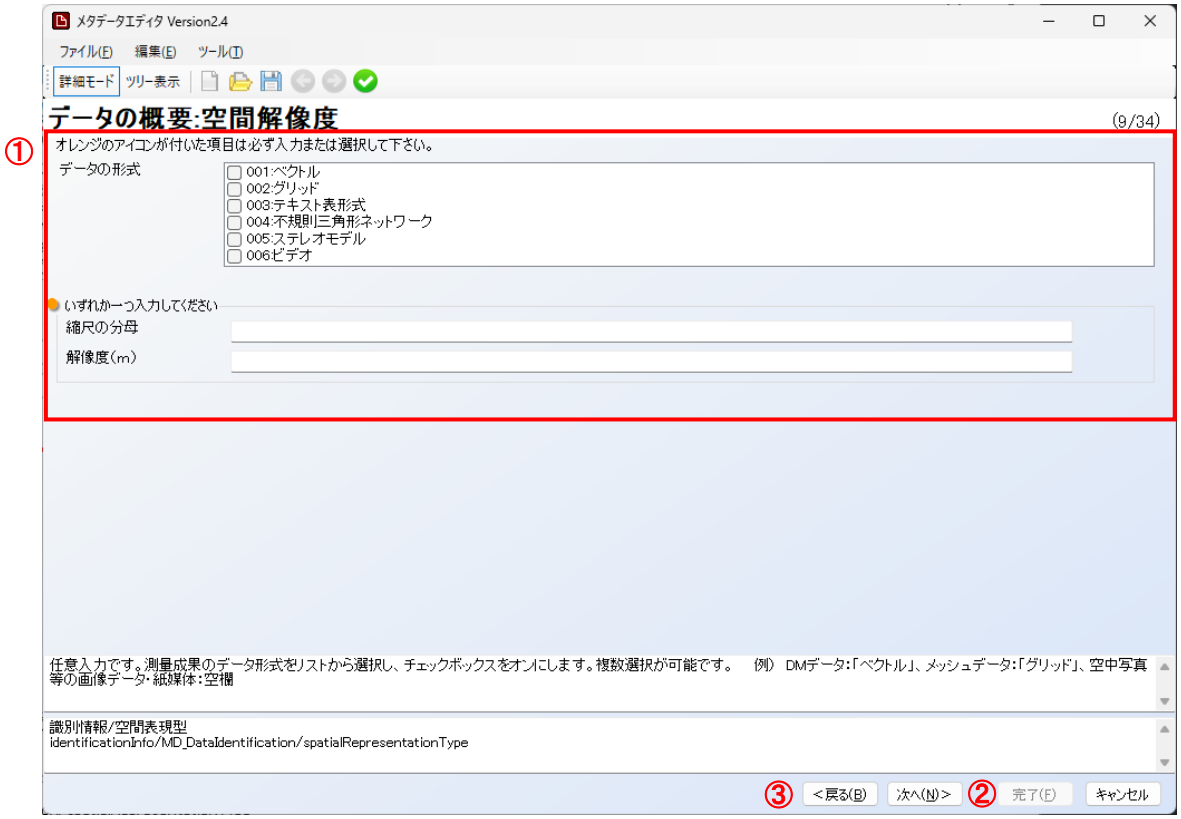


図 6.10-1 データの概要画面 8

表 6.10-1 データの概要画面 8 の構成

項番	項目名	説明
①	空間解像度の入力欄	前の画面から遷移します。データの空間解像度を入力します。各項目の詳細については「8.1.8 データの概要:空間解像度」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面[データの整備範囲画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.11. データの整備範囲画面 1 (データの整備範囲：整備範囲の緯度経度情報画面)

整備範囲の緯度経度情報を入力する画面です。

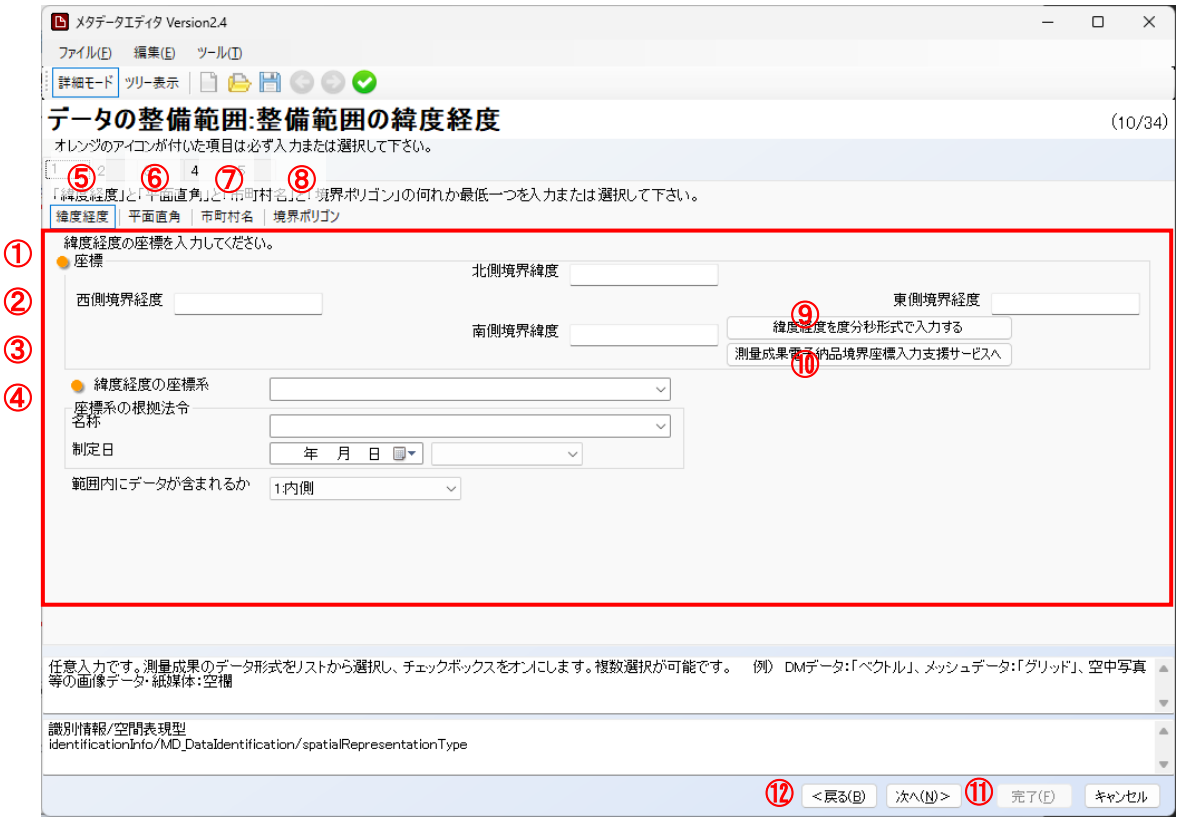
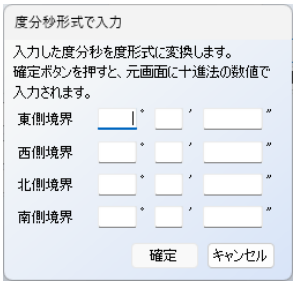


図 6.11-1 データの整備範囲画面 1

表 6.11-1 データの整備範囲画面 1 の構成

項番	項目名	説明
①	整備範囲　緯度経度入力欄	前の画面から遷移します。データの緯度経度を入力します。各項目の詳細については「8.1.9 データの整備範囲:整備範囲の緯度経度情報」をご参照ください。 緯度経度が複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別の緯度経度情報を入力することができます。
②	整備範囲　平面直角入力欄	データの平面直角を入力します。各項目の詳細については「8.1.9 データの整備範囲:整備範囲の緯度経度情報」をご参照ください。 平面直角が複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別の平面直角情報を入力することができます。

項番	項目名	説明
③	整備範囲　市町村名入力欄	データの市町村名を入力します。各項目の詳細については「8.1.9 データの整備範囲:整備範囲の緯度経度情報」をご参照ください。 市町村名が複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別の市町村名情報を入力することができます。
④	整備範囲　境界ポリゴン入力欄	データの境界ポリゴンを入力します。各項目の詳細については「8.1.9 データの整備範囲:整備範囲の緯度経度情報」をご参照ください。 境界ポリゴンが複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別の境界ポリゴン情報を入力することができます。
⑤	[緯度経度]ボタン	クリックすると、緯度経度入力欄が表示されます。
⑥	[平面直角]ボタン	クリックすると、平面直角入力欄が表示されます。
⑦	[市町村名]ボタン	クリックすると、市町村名入力欄が表示されます。
⑧	[境界ポリゴン]ボタン	クリックすると、境界ポリゴン入力欄が表示されます。
⑨	[度分秒で入力]ボタン	度分秒形式で入力が行えるダイアログボックスが起動します。  DD°MM′SS.SSSS″形式にて入力
⑩	[測量成果電子納品境界座標入力支援サービスへ]ボタン	ブラウザが起動し、測量成果電子納品境界座標入力支援サービス(https://www.gsi.go.jp/KOUKYOU/sokuryosidou41017.html)のページが開きます。
⑪	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面[データの整備範囲画面 2]に遷移します。
⑫	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.12. データの整備範囲画面 2 (データの整備範囲：その他の項目の選択画面)

データの整備範囲のその他項目のうち、入力する項目を選択する画面です。

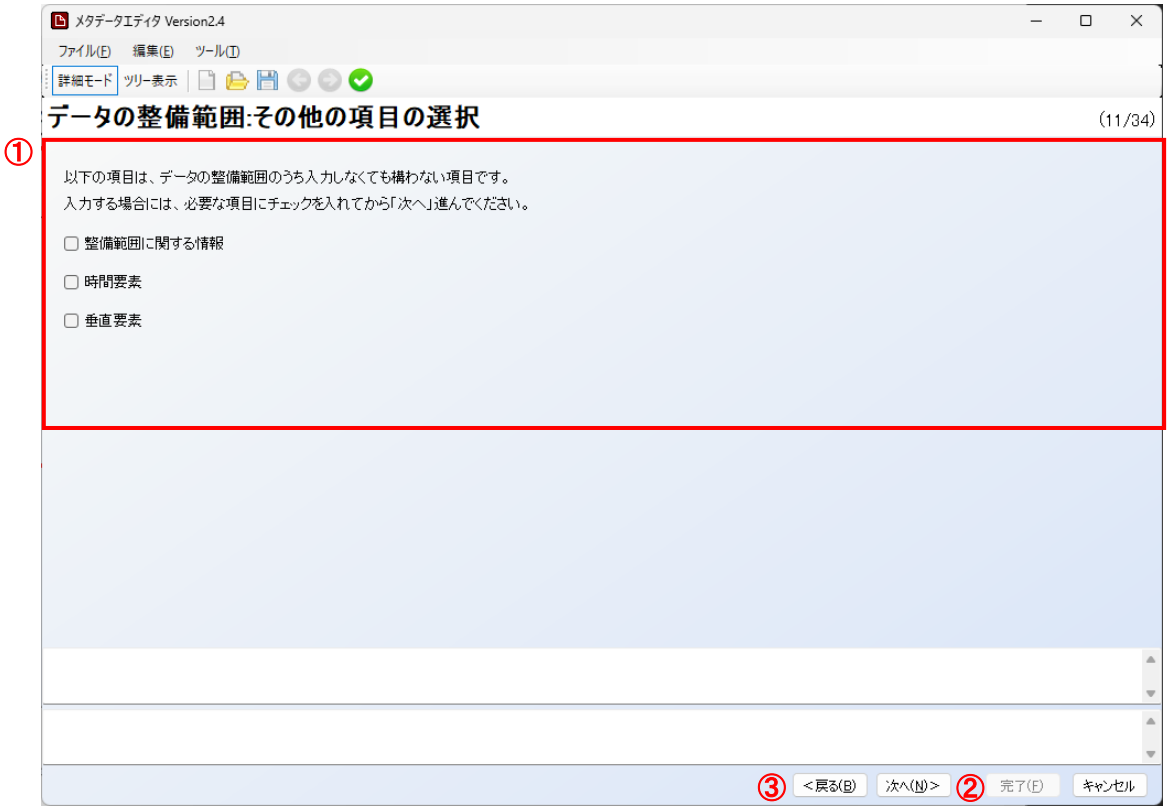


図 6.12-1 データの整備範囲画面 2

表 6.12-1 データの整備範囲画面 2 の構成

項番	項目名	説明
①	その他の項目選択欄	[データの整備範囲画面 1]から遷移します。入力する分類名をチェックボックスで選択します。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（その他の項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。複数のチェックボックスがオンになっている場合は、最上位にある項目の入力画面に遷移します。チェックボックスをオンにした画面が無い場合は、[お問合せ先画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面[データの整備範囲画面 1]に戻ります。

6.13. データの整備範囲画面 3 (データの整備範囲：整備範囲に関する情報画面)

整備範囲に関する情報を入力する画面です。

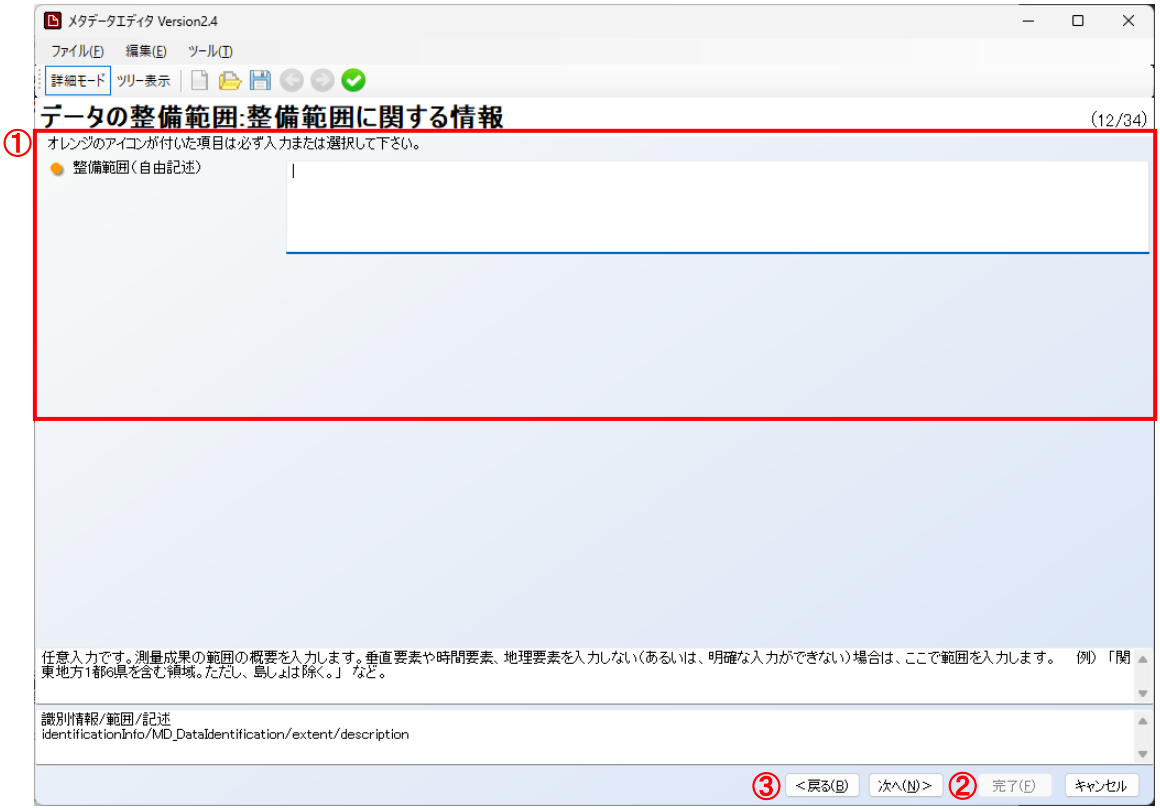


図 6.13-1 データの整備範囲画面 3

表 6.13-1 データの整備範囲画面 3 の構成

項番	項目名	説明
①	整備範囲に関する情報入力欄	[データの整備範囲画面 2]から遷移します。データの整備範囲に関する情報を入力します。各項目の詳細については「8.1.10 データの整備範囲:整備範囲に関する情報」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（その他の項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[お問合せ先画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、[データの整備範囲画面 1]に戻ります。

6.14. データの整備範囲画面 4 (データの整備範囲：時間要素画面)

時間要素を入力する画面です。

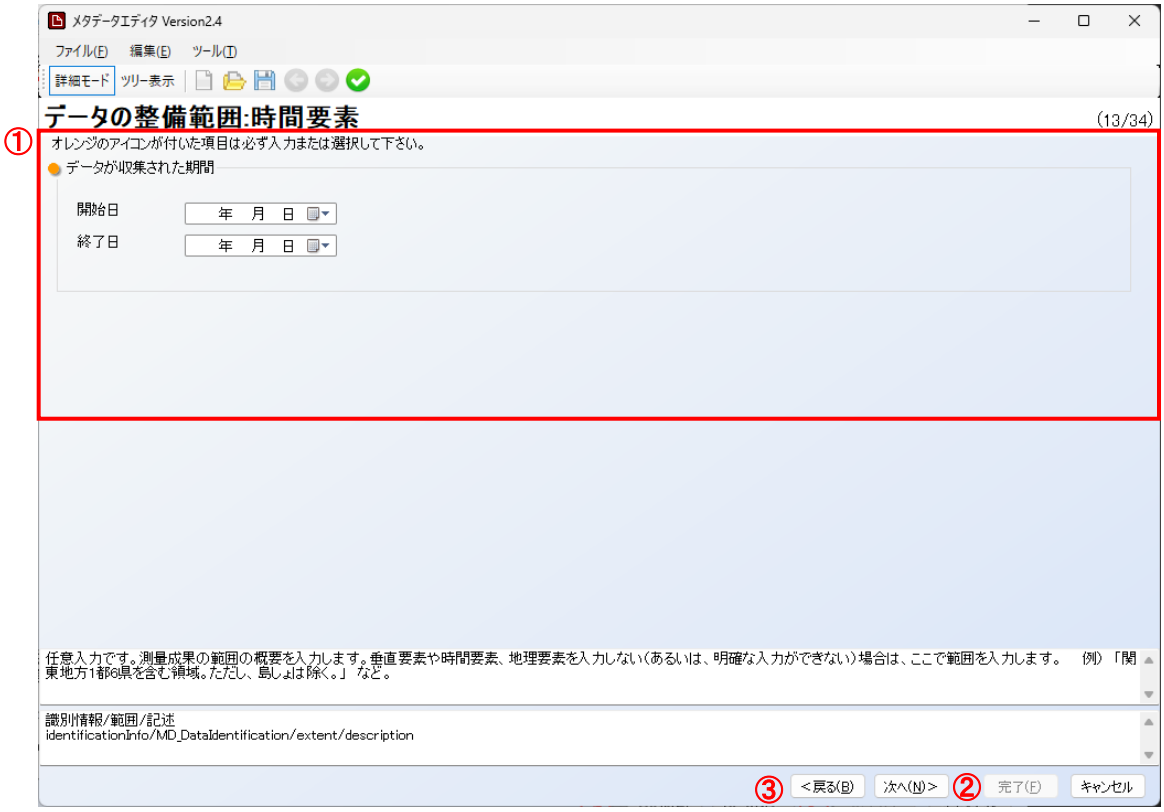


図 6.14-1 データの整備範囲画面 4

表 6.14-1 データの整備範囲画面 4 の構成

項番	項目名	説明
①	時間要素入力欄	前の画面から遷移します。データの時間要素を入力します。各項目の詳細については「8.1.11 データの整備範囲:時間要素」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（その他の項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[お問合せ先画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.15. データの整備範囲画面 5 (データの整備範囲：垂直要素画面)

垂直要素を入力する画面です。

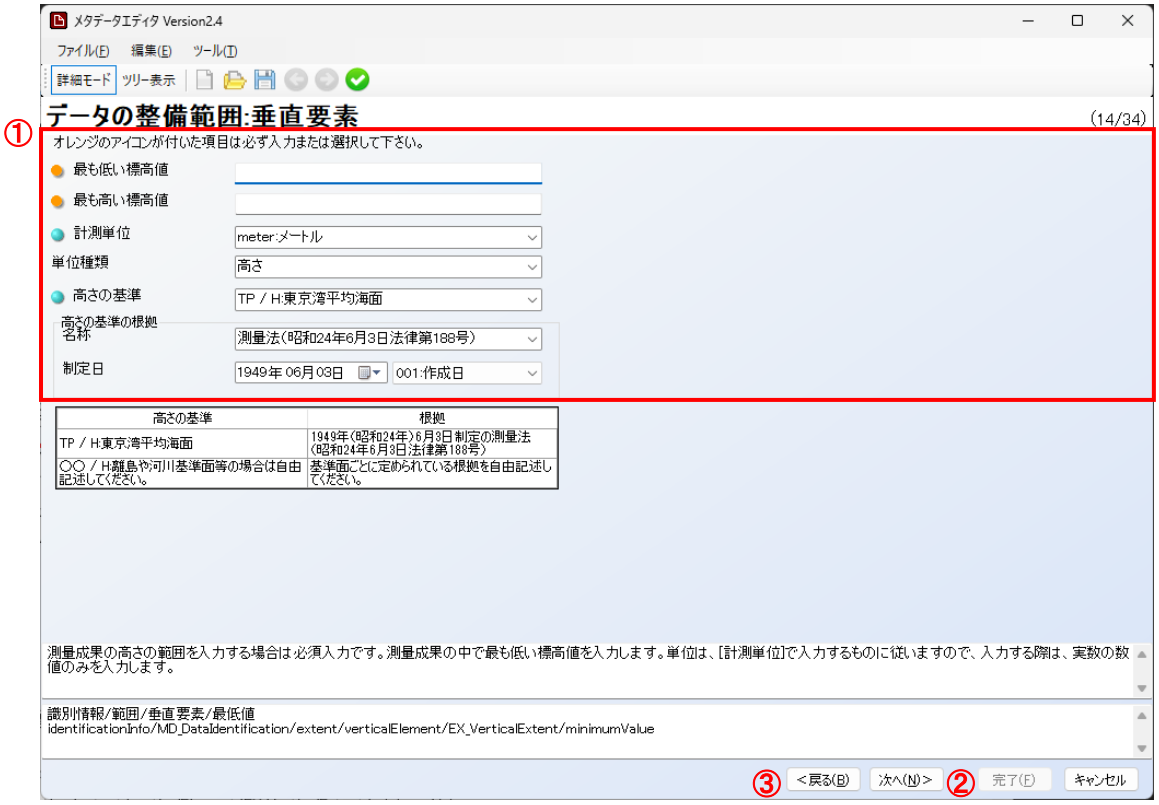


図 6.15-1 データの整備範囲画面 5

表 6.15-1 データの整備範囲画面 5 の構成

項番	項目名	説明
①	垂直要素入力欄	前の画面から遷移します。データの垂直要素を入力します。各項目の詳細については「8.1.12 データの整備範囲:垂直要素」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面[お問合せ先画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.16. お問合せ先画面 1 (お問合せ先：メタデータのお問合せ先画面)

メタデータのお問合せ先を入力する画面です。

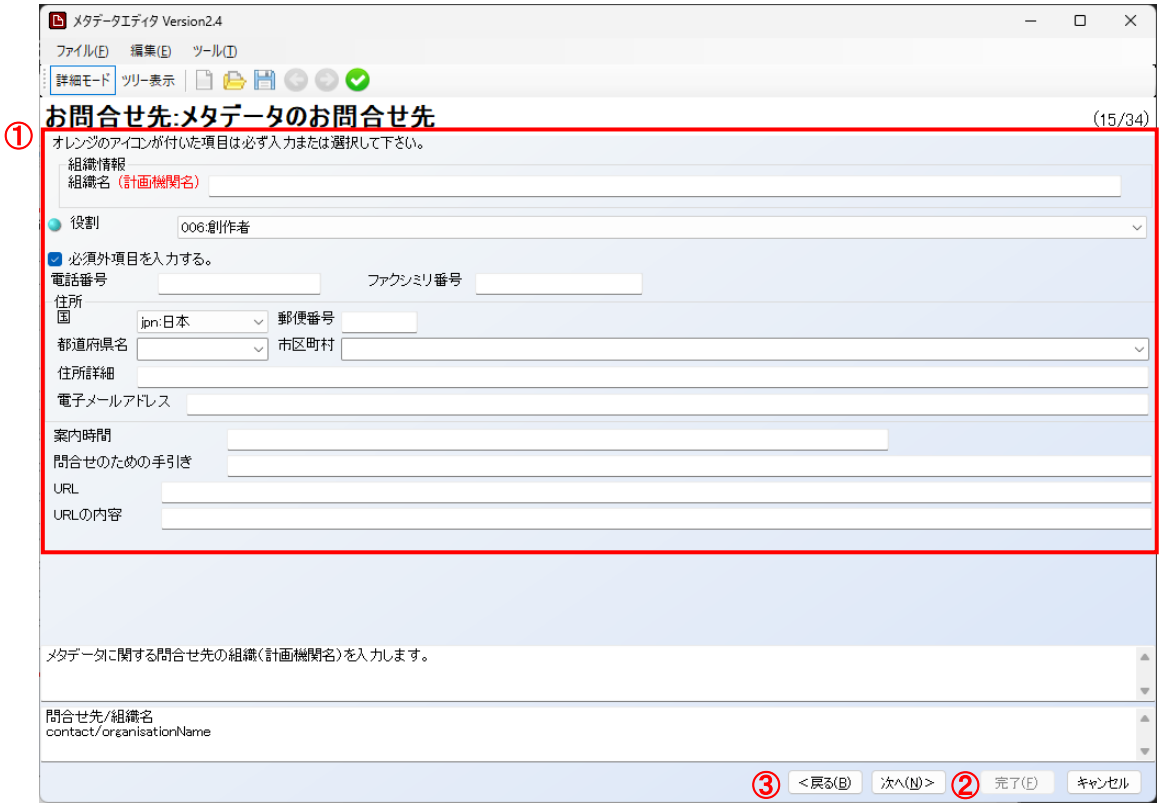


図 6.16-1 お問合せ先画面 1

表 6.16-1 お問合せ先画面 1 の構成

項番	項目名	説明
①	メタデータのお問合せ先入力欄	前の画面から遷移します。メタデータのお問い合わせ先を入力します。各項目の詳細については「8.1.13 お問合せ先:メタデータのお問合せ先」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面[お問合せ先画面 2]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.17. お問合せ先画面 2 (お問合せ先：入力有無の選択画面)

データのお問合せ先入力の有無を選択する画面です。

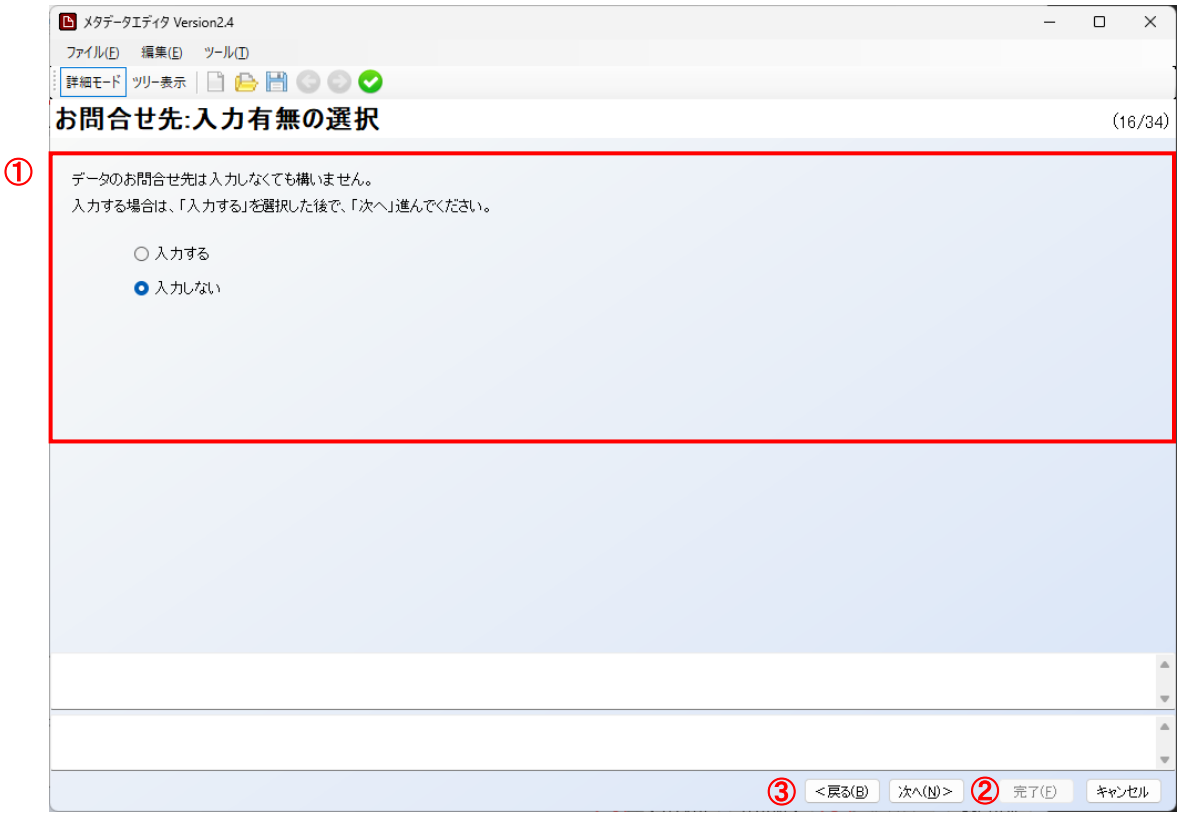


図 6.17-1 お問合せ先画面 2

表 6.17-1 お問合せ先画面 2

項番	項目名	説明
①	データのお問合せ先入力欄	[お問合せ先画面 1]から遷移します。「入力する」か「入力しない」を選択します。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面に遷移します。「入力する」を選択した場合は、[お問合せ先画面 3]に遷移し、「入力しない」を選択した場合は、[データの座標参照系画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面[お問合せ先画面 1]に戻ります。

6.18. お問合せ先画面 3 (お問合せ先：データのお問合せ先画面)

データのお問合せ先を入力する画面です。

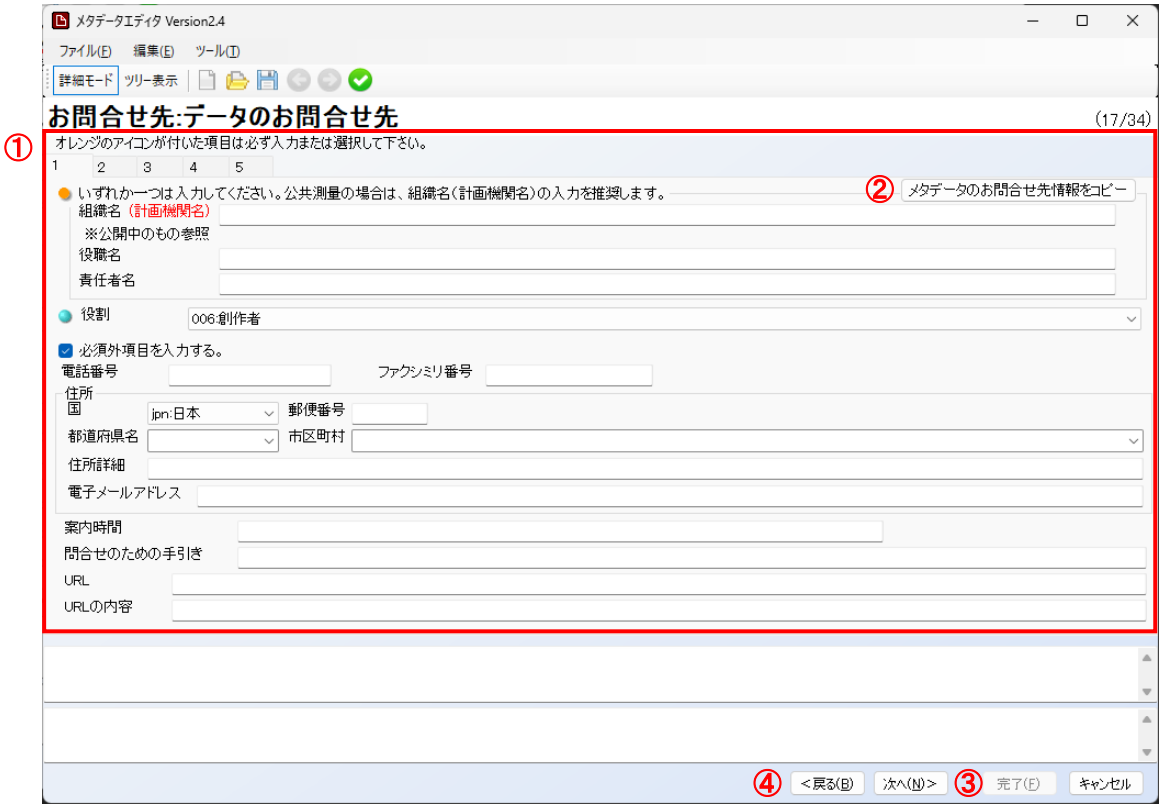


図 6.18-1 お問合せ先画面 3

表 6.18-1 お問合せ先画面 3 の構成

項番	項目名	説明
①	データのお問合せ先入力欄	[お問合せ先画面 2]から遷移します。データのお問い合せ先を入力します。各項目の詳細については「8.1.14 お問合せ先:データのお問合せ先」をご参照ください。データのお問い合せ先が複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別のデータのお問合せ先情報を入力することができます。
②	[メタデータのお問合せ先情報をコピー]ボタン	クリックすると、[お問合せ先画面 1]に値がある場合は、その値を 1 つめのタブにコピーします。
③	[次へ]ボタン	クリックすると、[データの座標参照系画面 1]に遷移します。
④	[戻る]ボタン	クリックすると、[お問合せ先画面 2]に戻ります。

6.19. データの座標参照系画面 1 (データの座標参照系：入力有無の選択画面)

データの座標系入力の有無を選択する画面です。

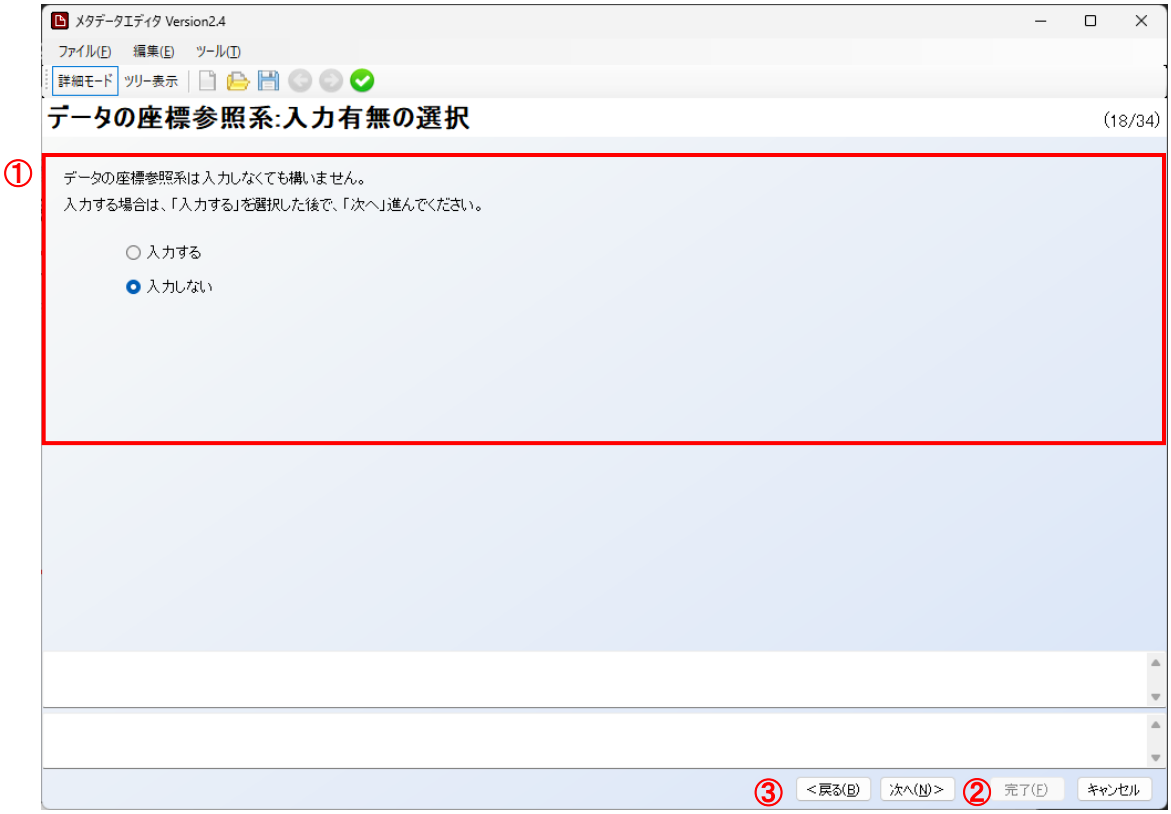


図 6.19-1 データの座標参照系画面 1

表 6.19-1 データの座標参照系画面 1 の構成

項番	項目名	説明
①	入力有無の選択欄	前の画面から遷移します。「入力する」か「入力しない」を選択します。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面に遷移します。「入力する」を選択した場合は、[データの座標参照系画面 2]に遷移し、「入力しない」を選択した場合は、[データの配布情報画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.20. データの座標参照系画面 2 (データの座標参照系：参照系画面)

データの座標参照系を入力する画面です。

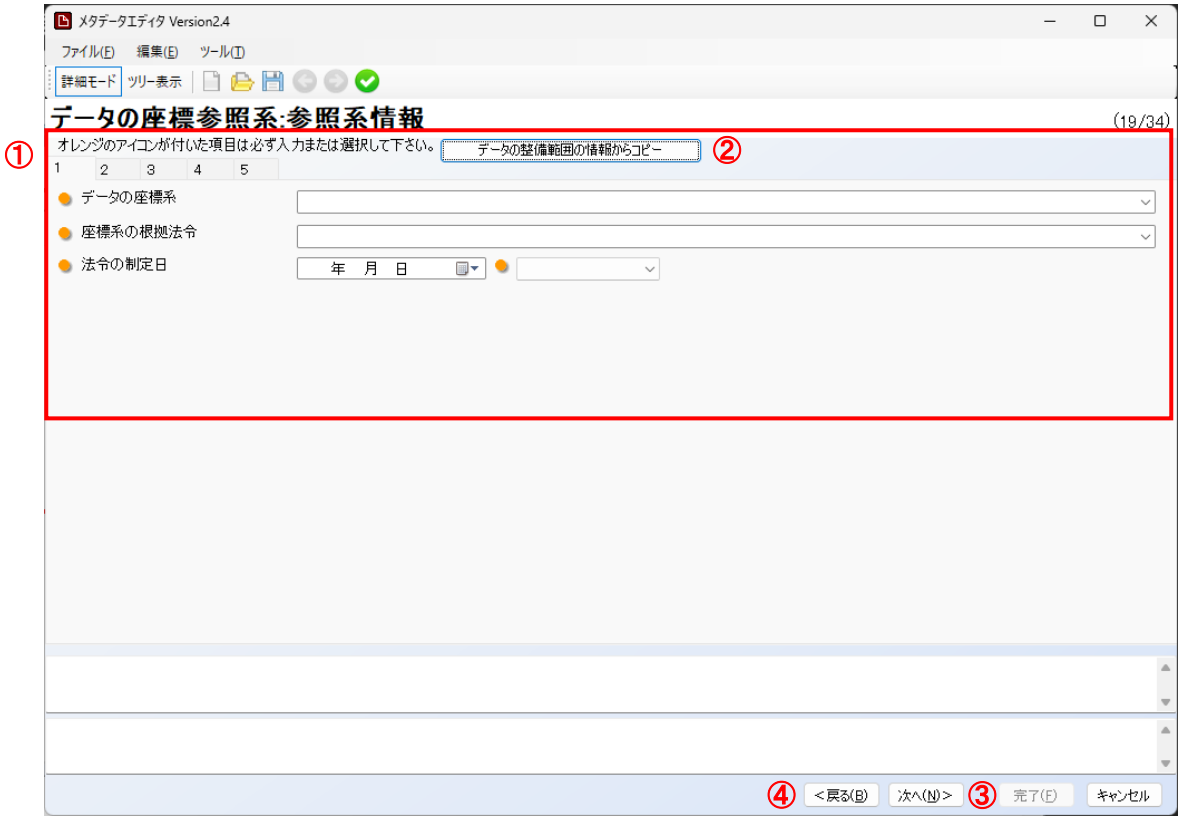


図 6.20-1 データの座標参照系画面 2

表 6.20-1 データの座標参照系画面 2 の構成

項番	項目名	説明
①	参照系情報入力欄	前の画面[データの座標参照系画面 1]で[入力する]が選択された場合に遷移します。データの参照系情報を入力します。各項目の詳細については「8.1.15 データの座標参照系:参照系情報」をご参照ください。 参照系情報が複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別の参照系情報を入力することができます。
②	[データの整備範囲の情報からコピー]ボタン	クリックすると、[データの整備範囲画面 1]に参照系情報が入力されている場合は、参照系情報をコピーします。整備範囲に複数の異なる参照系情報がある場合はタブに分けて 5 つまで入力します。

項番	項目名	説明
③	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面[データの配布情報画面 1]に遷移します。
④	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面[データの座標参照系画面 1]に戻ります。

6.21. データの配布情報画面 1 (データの配布情報：項目の選択画面)

データの配布情報で入力する項目を選択する画面です。

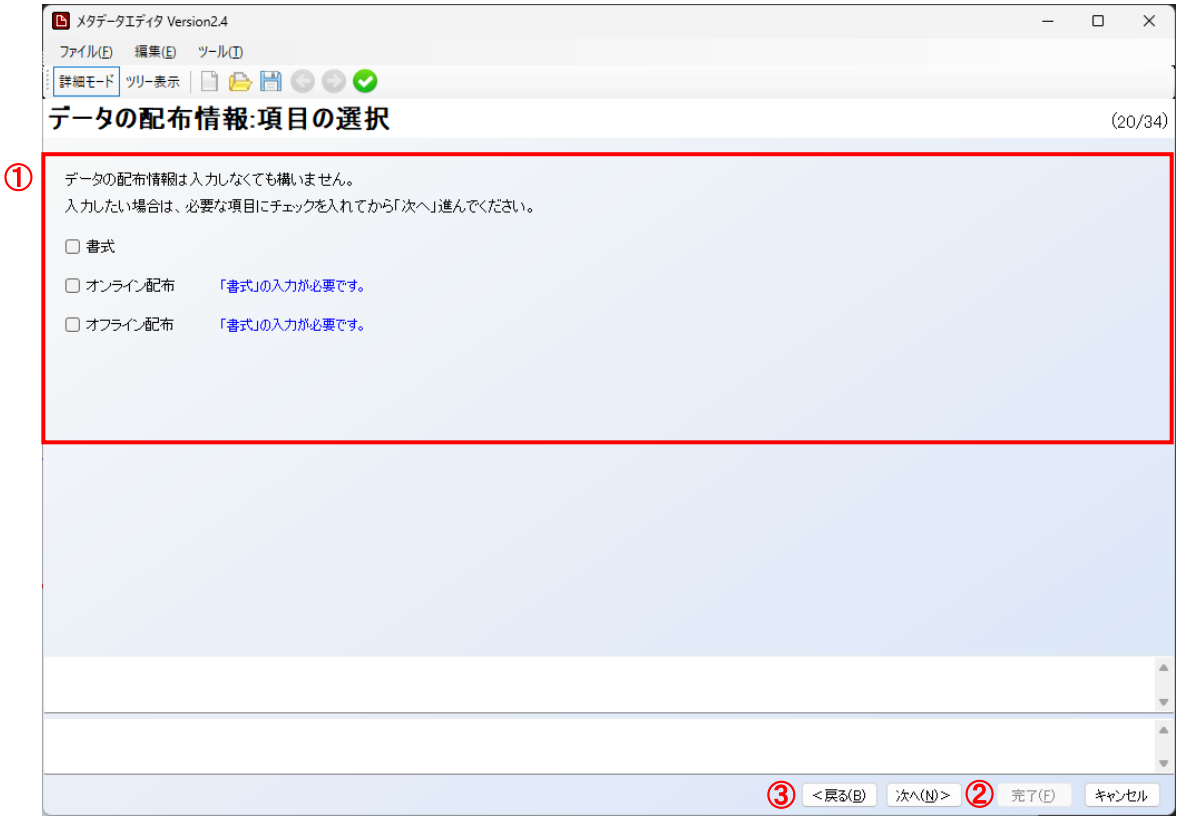


図 6.21-1 データの配布情報画面 1

表 6.21-1 データの配布情報画面 1 の構成

項番	項目名	説明
①	項目選択欄	前の画面から遷移します。入力する分類名をチェックボックスで選択します。 ※オフライン配布、オンライン配布の項目を選択する場合（入力する場合）は、書式の入力が必要なため、かならず書式のチェックボックスがオンになります。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面が無い場合は、[データの品質情報画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.22. データの配布情報画面 2 (データの配布情報：書式画面)

書式を入力する画面です。

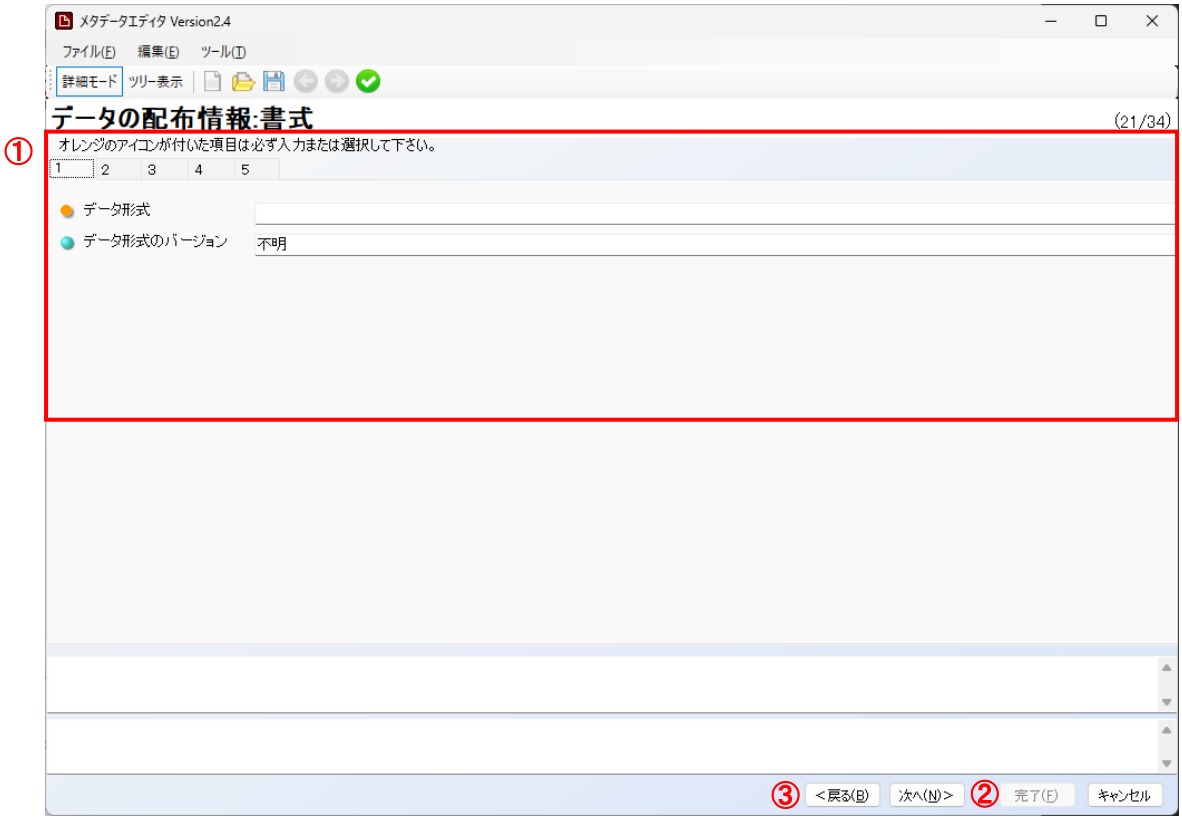


図 6.22-1 データの配布情報画面 2

表 6.22-1 データの配布情報画面 2 の構成

項番	項目名	説明
①	書式入力欄	前の画面[データの配布情報画面 1]から遷移します。データの書式を入力します。各項目の詳細については「8.1.16 データの配布情報:書式」をご参照ください。 書式が複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別の書式情報を入力することができます。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面が無い場合は、[データの品質情報画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.23. データの配布情報画面 3 (データの配布情報：オンライン配布画面)

オンライン配布情報を入力する画面です。

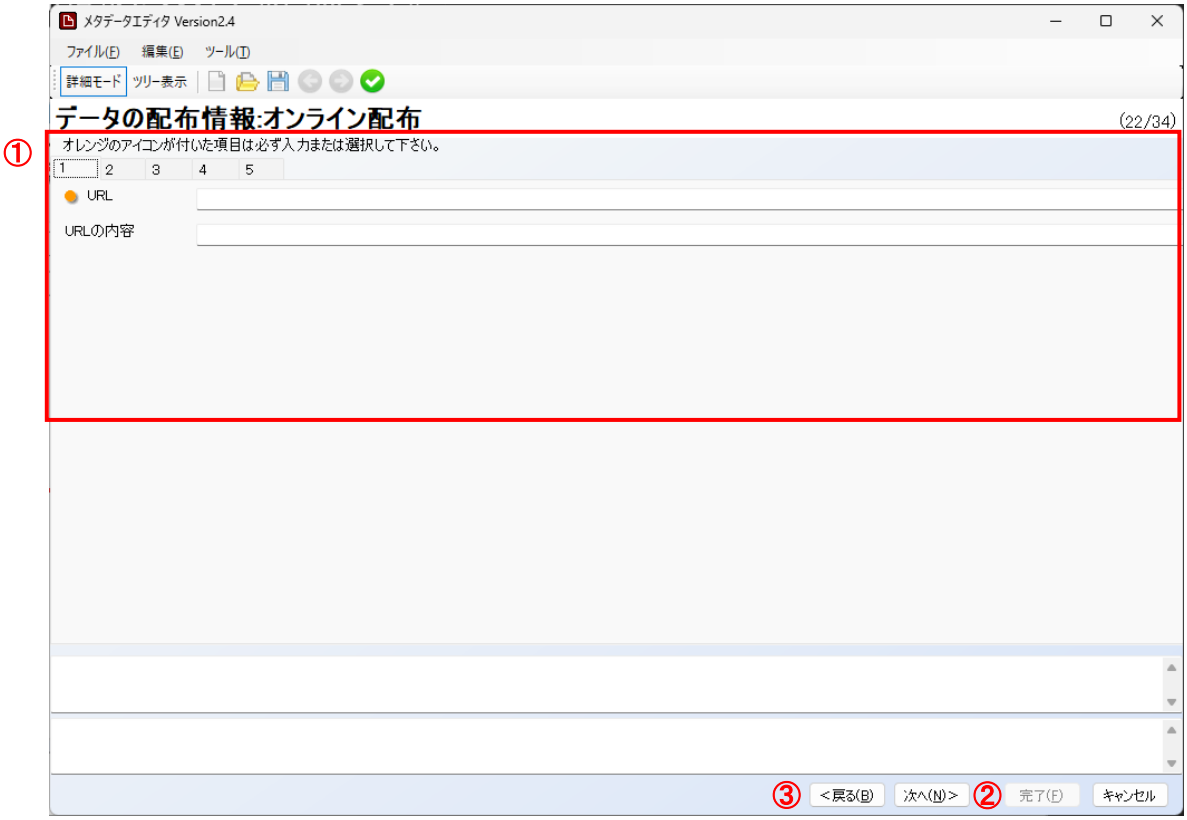


図 6.23-1 データの配布情報画面 3

表 6.23-1 データの配布情報画面 3 の構成

項番	項目名	説明
①	オンライン配布入力欄	[データの配布情報画 2]から遷移します。データのオンライン配布を入力します。各項目の詳細については「8.1.17 データの配布情報:オンライン配布」をご参照ください。 オンライン配布が複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別のオンライン配布情報を入力することができます。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面が無い場合は、[データの品質情報画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、[データの配布情報画面 2]に戻ります。

6.24. データの配布情報画面 4 (データの配布情報：オフライン配布画面)

オフライン配布情報を入力する画面です。

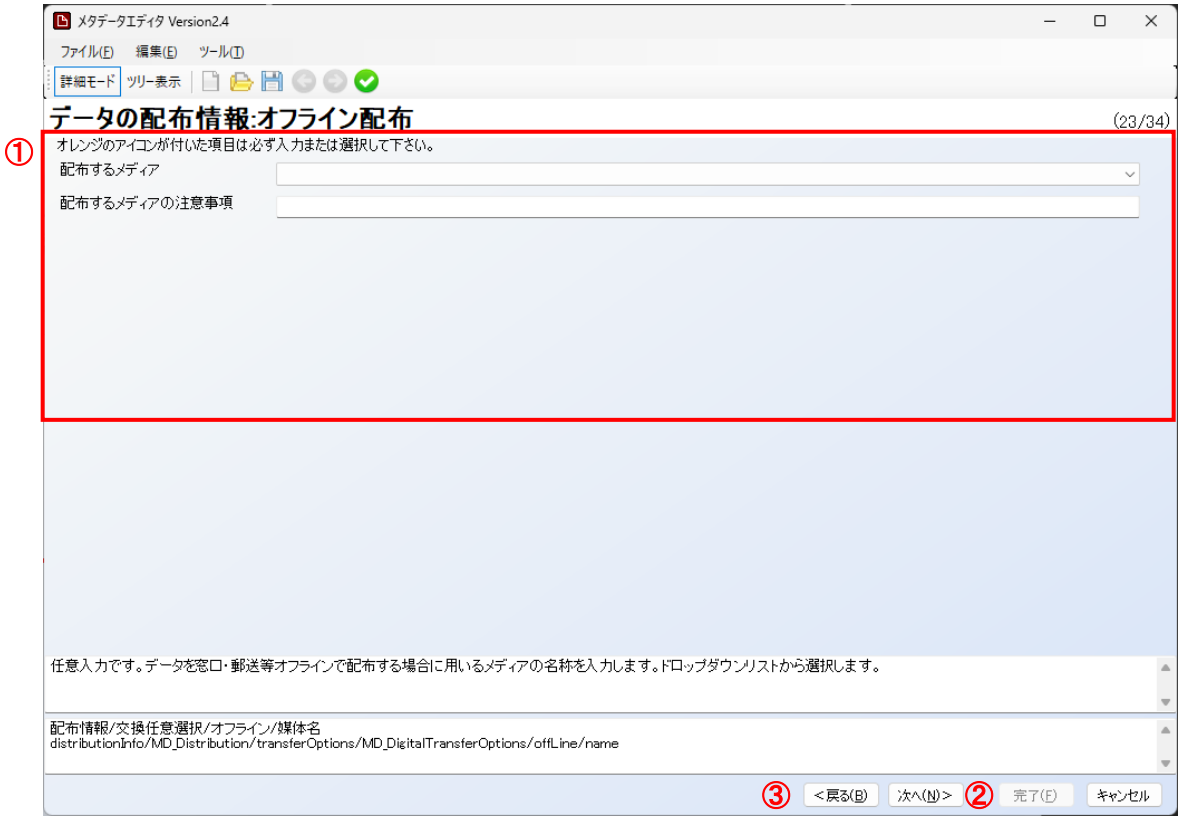


図 6.24-1 データの配布情報画面 4

表 6.24-1 データの配布情報画面 4 の構成

項番	項目名	説明
①	オフライン配布入力欄	前の画面から遷移します。データのオフライン配布を入力します。各項目の詳細については「8.1.18 データの配布情報:オフライン配布」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面[データの品質情報画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.25. データの品質情報画面 1 (データの品質情報：項目の選択画面)

データの品質情報で入力する項目を選択する画面です。

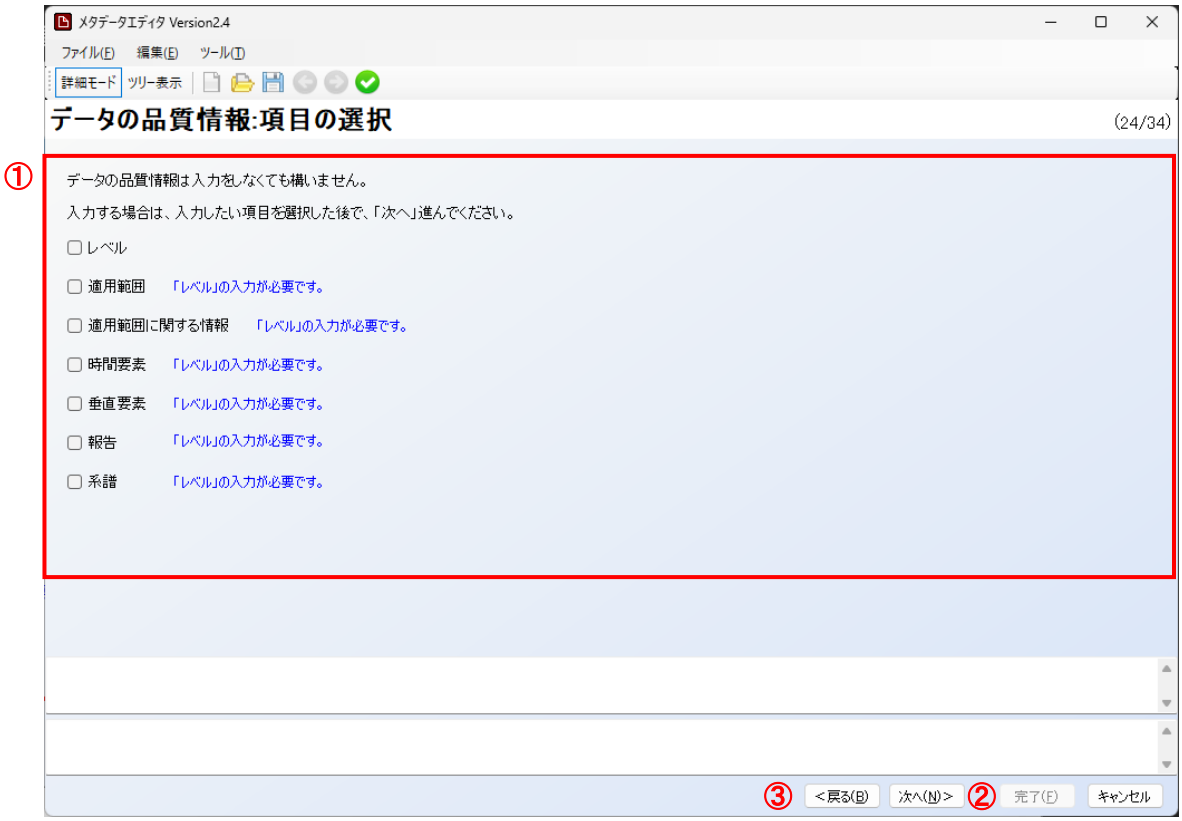


図 6.25-1 データの品質情報画面 1

表 6.25-1 データの品質情報画面 1 の構成

項番	項目名	説明
①	項目選択欄	前の画面から遷移します。入力する分類名をチェックボックスで選択します。 ※適用範囲、適用範囲に関する情報、時間要素、垂直要素、報告、系譜の項目を選択する場合（入力する場合）は、レベルの入力が必要なため、かならずレベルのチェックボックスがオンになります。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面が無い場合は、[メタデータ情報画面1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.26. データの品質情報画面 2 (データの品質情報：レベル画面)

データ品質のレベルを入力する画面です。

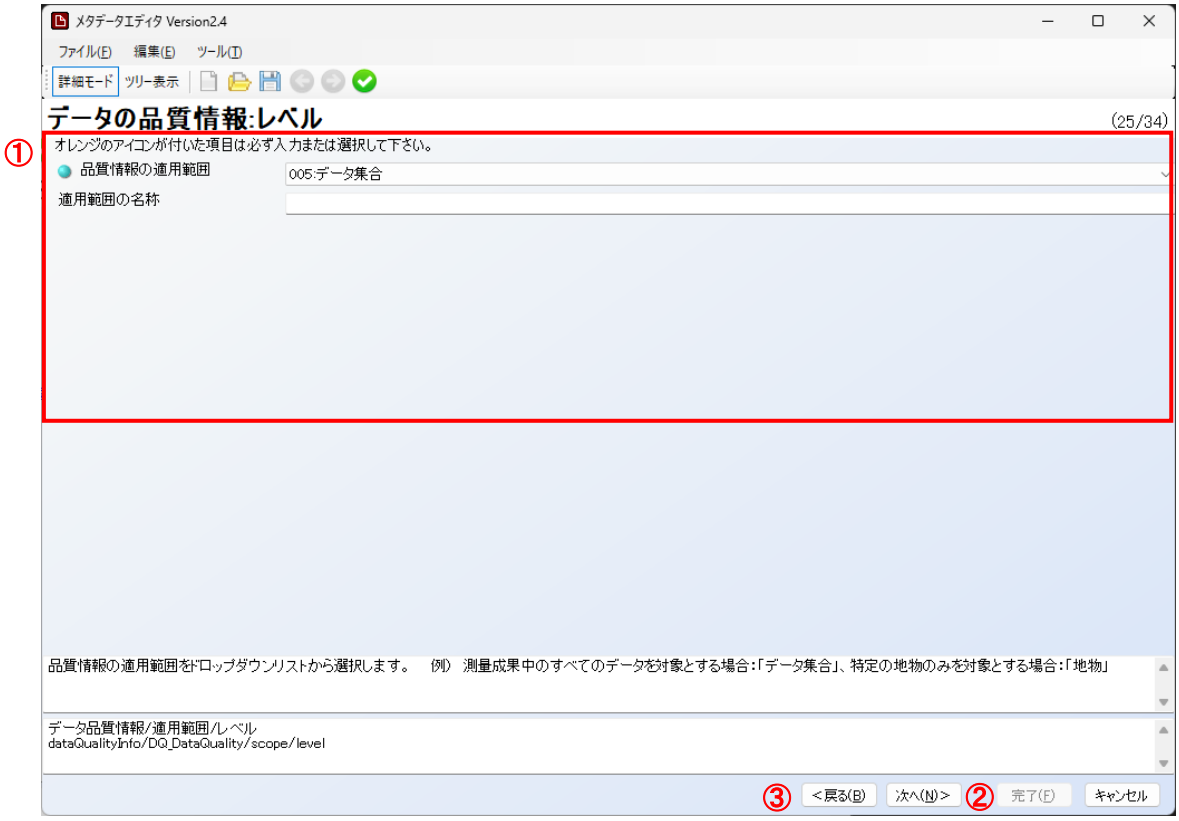


図 6.26-1 データの品質情報画面 2

表 6.26-1 データの品質情報画面 2 の構成

項番	項目名	説明
①	レベル入力欄	[データの品質情報画面 1]から遷移します。データ品質のレベルを入力します。各項目の詳細については「8.1.19 データの品質情報:レベル」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[メタデータ情報画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面[データの品質情報画面 1]に戻ります。

6.27. データの品質情報画面 3 (データの品質情報：適用範囲画面)

データ品質の適用範囲を入力する画面です。

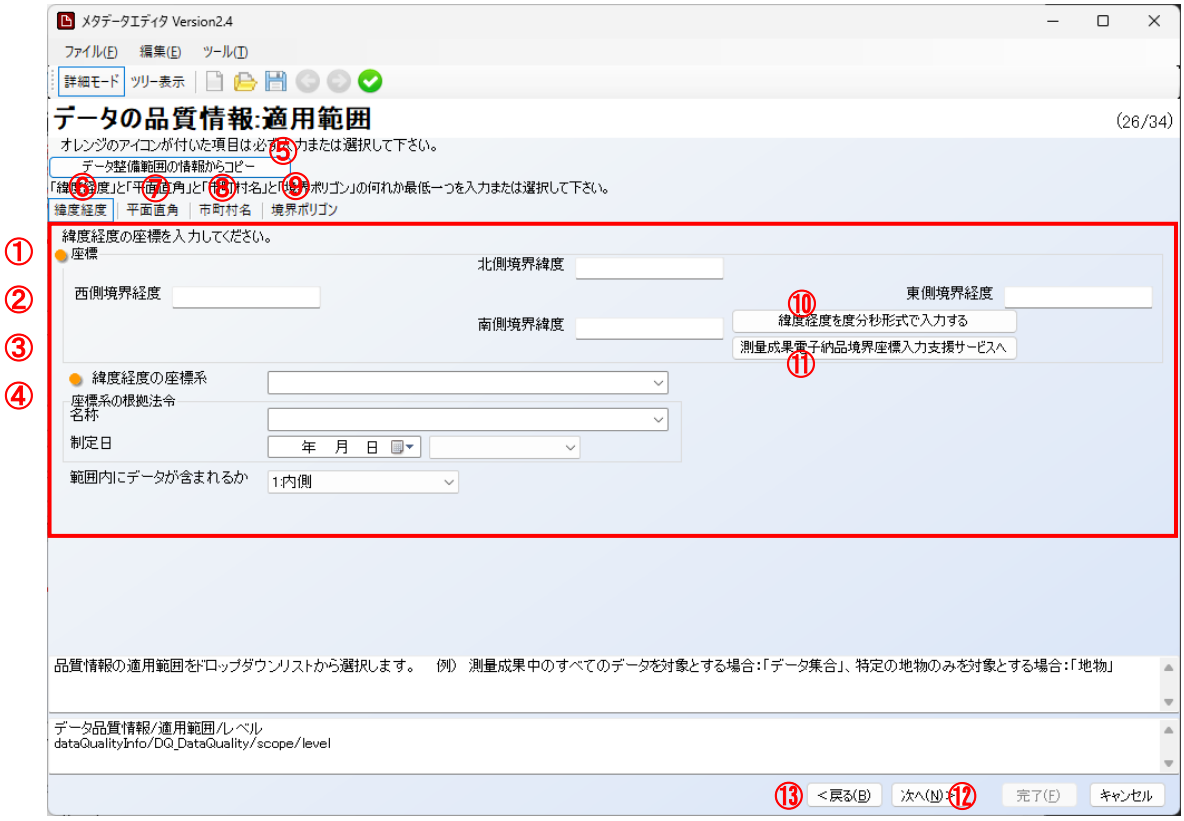
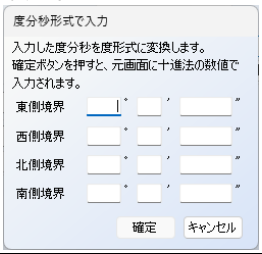


図 6.27-1 データの品質情報画面 3

表 6.27-1 データの品質情報画面 3

項番	項目名	説明
①	適用範囲　緯度経度入力欄	前の画面[データの品質情報画面 2]から遷移します。データの緯度経度を入力します。各項目の詳細については「8.1.20 データの品質情報:適用範囲」をご参照ください。
②	適用範囲　平面直角入力欄	データの平面直角を入力します。各項目の詳細については「8.1.20 データの品質情報:適用範囲」をご参照ください。
③	適用範囲　市町村名入力欄	データの市町村名を入力します。各項目の詳細については「8.1.20 データの品質情報:適用範囲」をご参照ください。
④	適用範囲　境界ポリゴン入力欄	データの境界ポリゴンを入力します。各項目の詳細については「8.1.20 データの品質情報:適用範囲」をご参照ください。
⑤	[データ整備範囲の情報からコピー]ボタン	クリックすると、[データの整備範囲画面 1]の一つ目のタブに値がある場合は、その値をコピーします。
⑥	[緯度経度]ボタン	クリックすると、緯度経度入力欄が表示されます。

項番	項目名	説明
⑦	[平面直角]ボタン	クリックすると、平面直角入力欄が表示されます。
⑧	[市町村名]ボタン	クリックすると、市町村名入力欄が表示されます。
⑨	[境界ポリゴン]ボタン	クリックすると、境界ポリゴン入力欄が表示されます。
⑩	[度分秒で入力]ボタン	度分秒形式で入力が行えるダイアログボックスが起動します。  DD°MM′SS.SSSS″形式にて入力
⑪	[測量成果電子納品境界座標入力支援サービスへ]ボタン	ブラウザが起動し、測量成果電子納品境界座標入力支援サービス(https://www.gsi.go.jp/KOUKYOU/sokuryosidou41017.html)のページが開きます。
⑫	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[メタデータ情報画面 1]に遷移します。
⑬	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面[データの品質情報画面 2]に戻ります。

6.28. データの品質情報画面 4 (データの品質情報：適用範囲に関する情報画面)

データ品質の適用範囲に関する情報を入力する画面です。

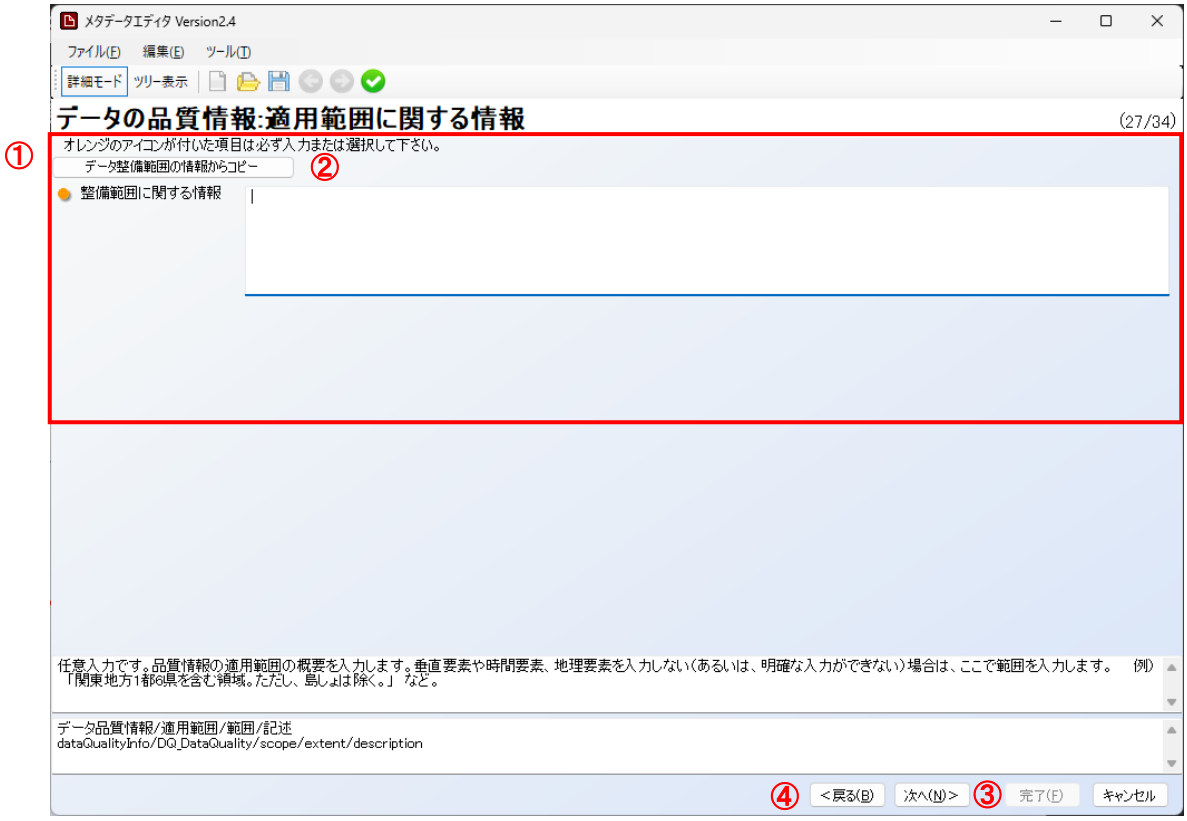


図 6.28-1 データの品質情報画面 4

表 6.28-1 データの品質情報画面 4 の構成

項番	項目名	説明
①	適用範囲に関する情報入力欄	前の画面から遷移します。適用範囲に関する情報を入力します。各項目の詳細については「8.1.21 データの品質情報:適用範囲に関する情報」をご参照ください。
②	[データ整備範囲の情報からコピー]ボタン	クリックすると、[データの整備範囲画面 3]に値がある場合は、その値をコピーします。
③	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[メタデータ情報画面 1]に遷移します。
④	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.29. データの品質情報画面 5 (データの品質情報：時間要素画面)

データ品質の時間要素を入力する画面です。

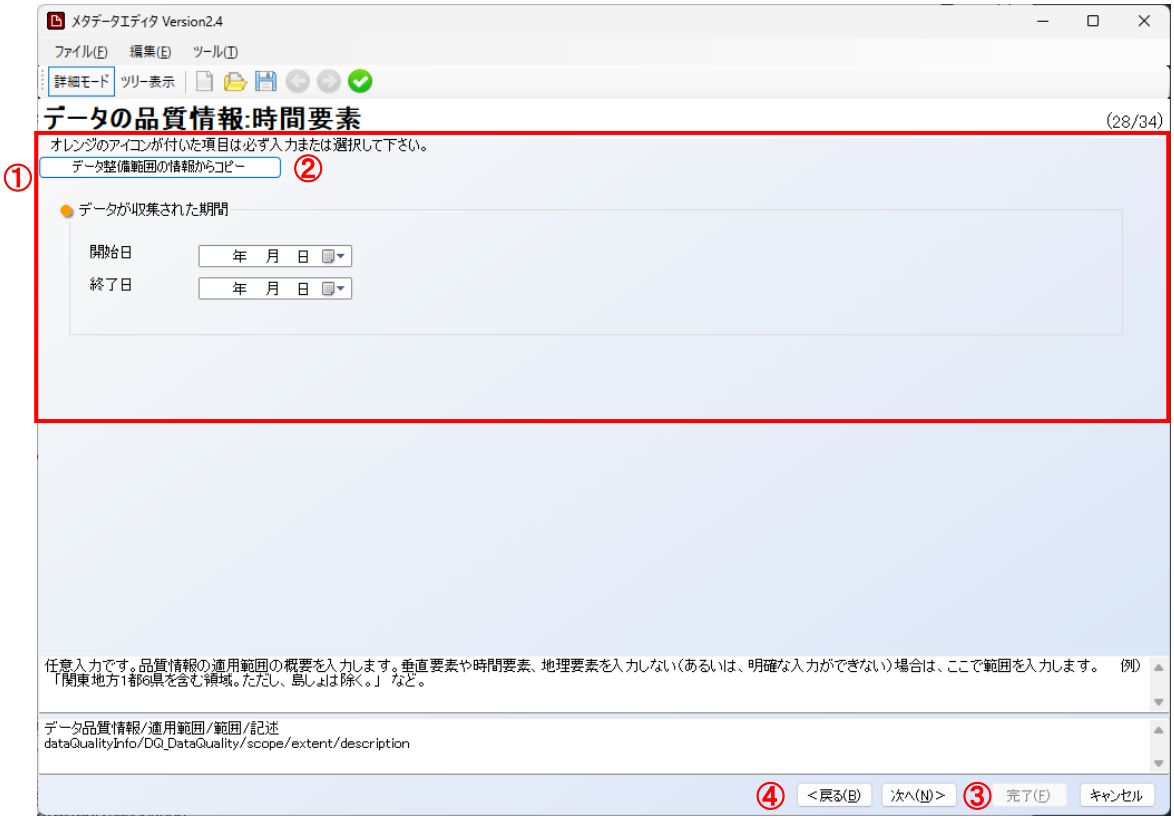


図 6.29-1 データの品質情報画面 5

表 6.29-1 データの品質情報画面 5 の構成

項番	項目名	説明
①	時間要素入力欄	前画面から遷移します。データ品質の時間要素を入力します。各項目の詳細については「8.1.22 データの品質情報:時間要素」をご参照ください。
②	[データ整備範囲の情報からコピー]ボタン	クリックすると、[データの整備範囲画面 4]に値がある場合は、その値をコピーします。
③	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[メタデータ情報画面 1]に遷移します。
④	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.30. データの品質情報画面 6 (データの品質情報：垂直要素画面)

データ品質の垂直要素を入力する画面です。

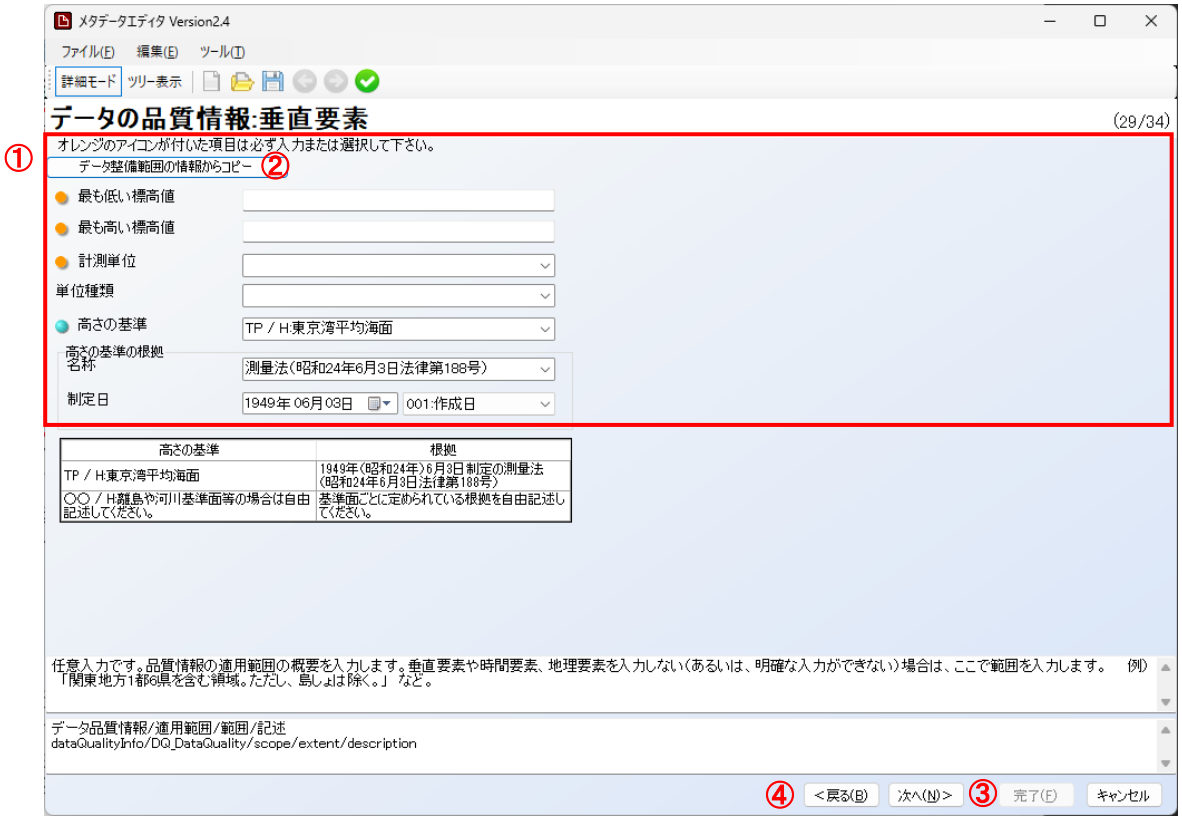


図 6.30-1 データの品質情報画面 6

表 6.30-1 データの品質情報画面 6 の構成

項番	項目名	説明
①	垂直要素入力欄	前画面から遷移します。データ品質の垂直要素を入力します。各項目の詳細については「8.1.23 データの品質情報:垂直要素」をご参照ください。
②	[データ整備範囲の情報からコピー]ボタン	クリックすると、[データの整備範囲画面 5]に値がある場合は、その値をコピーします。
③	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[メタデータ情報画面 1]に遷移します。
④	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.31. データの品質情報画面 7 (データの品質情報：報告画面)

データ品質の報告情報を入力する画面です。

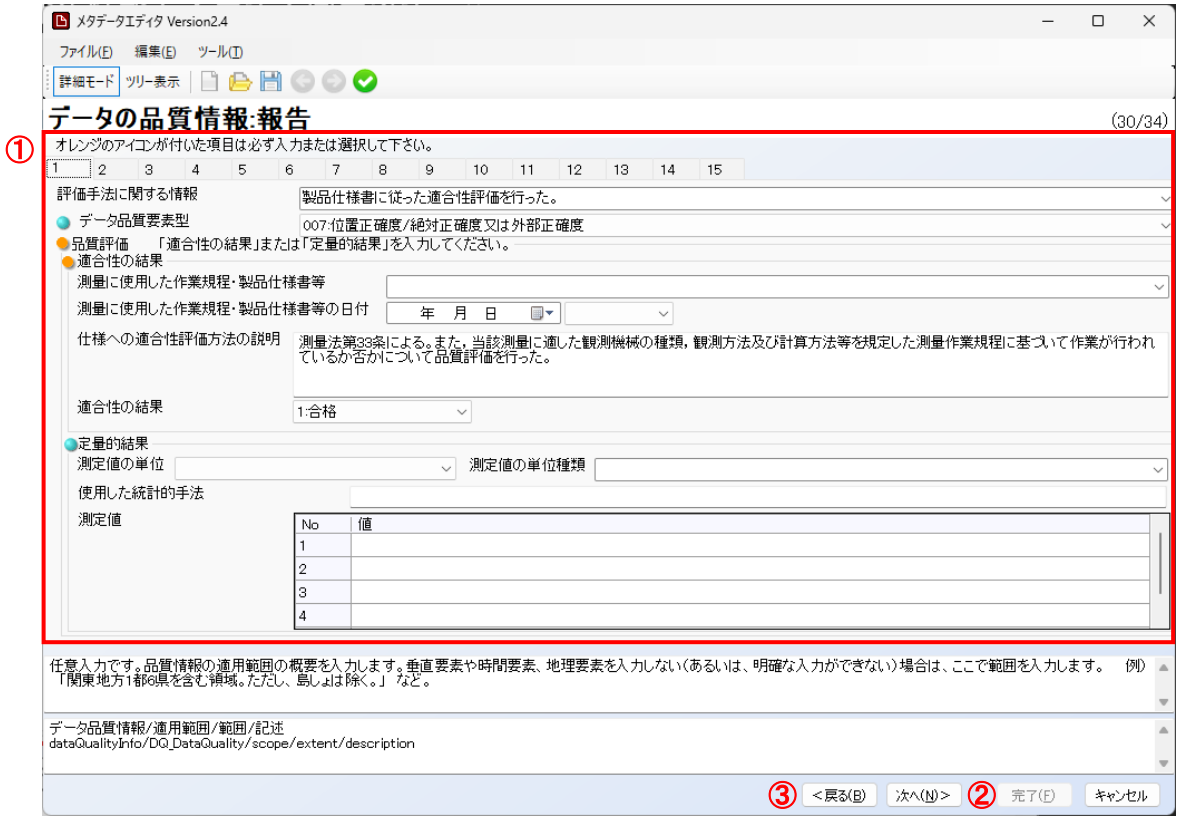


図 6.31-1 データの品質情報画面 7

表 6.31-1 データの品質情報画面 7 の構成

項番	項目名	説明
①	報告入力欄	前画面から遷移します。データ品質の報告を入力します。各項目の詳細については「8.1.24 データの品質情報:報告」をご参照ください。 報告が複数ある場合は、タブを選択することで、新たな入力欄を表示し、別のデータの報告情報を入力することができます。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面（項目選択でチェックボックスをオンにした画面）に遷移します。チェックボックスをオンにした画面がこれ以上無い場合は、[メタデータ情報画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.32. データの品質情報画面 8 (データの品質情報：系譜画面)

データ品質の系譜情報を入力する画面です。

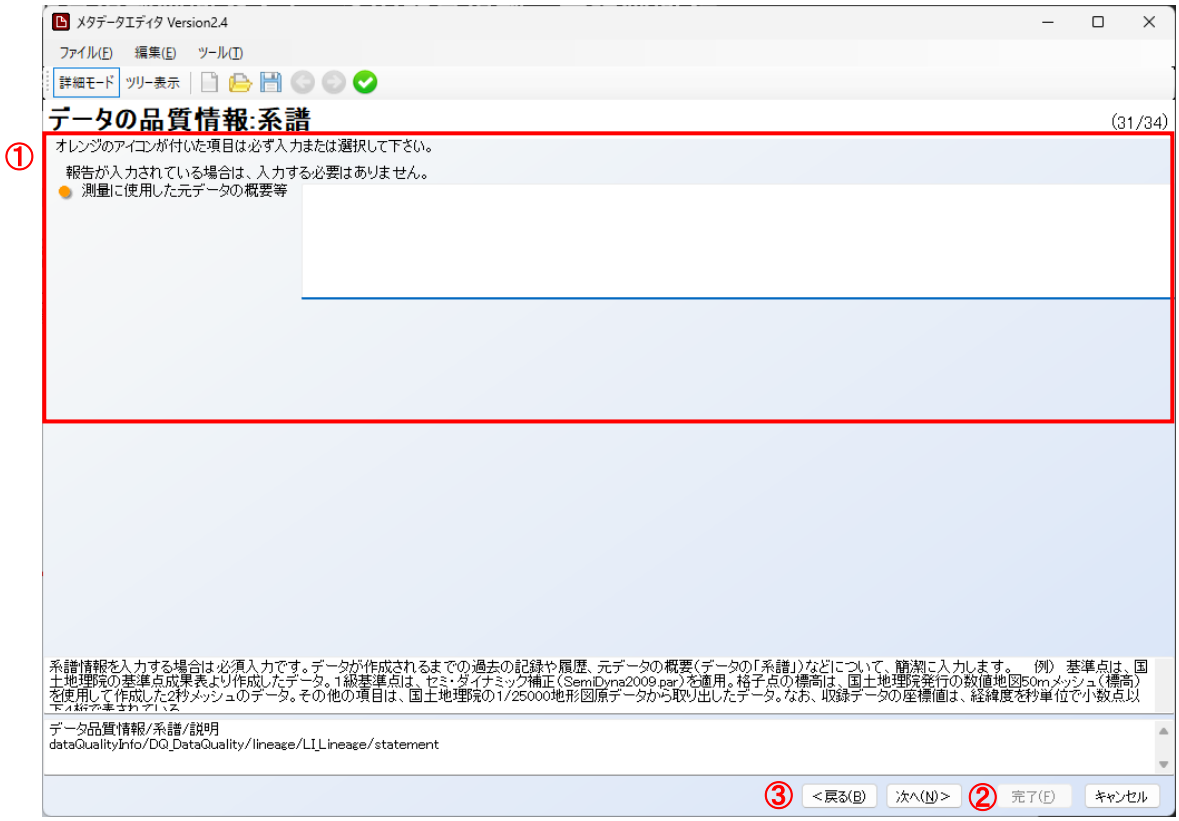


図 6.32-1 データの品質情報画面 8

表 6.32-1 データの品質情報画面 8 の構成

項番	項目名	説明
①	系譜入力欄	前画面から遷移します。データ品質の系譜を入力します。各項目の詳細については「8.1.25 データの品質情報:系譜」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面[メタデータ情報画面 1]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.33. メタデータ情報画面 1 (メタデータの情報：メタデータ規格画面)

メタデータ名を入力する画面です。

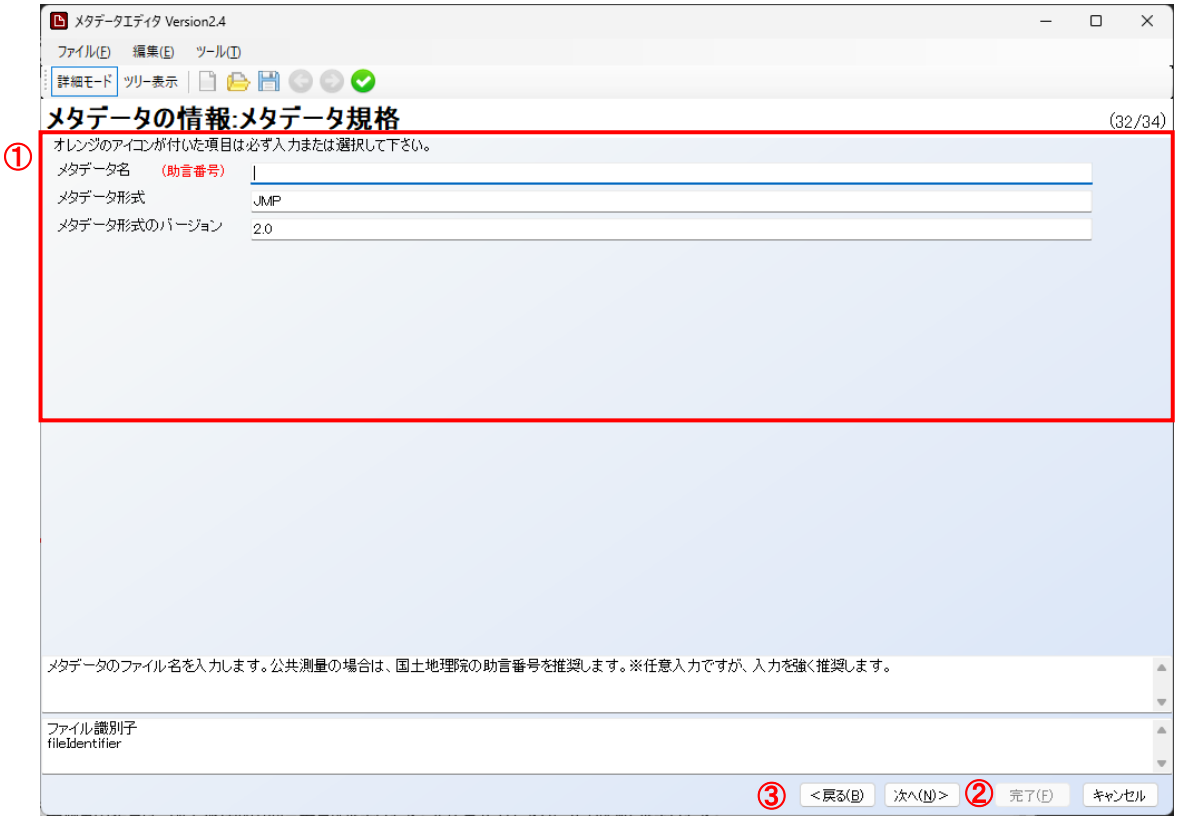


図 6.33-1 メタデータ情報画面 1

表 6.33-1 メタデータ情報画面 1 の構成

項番	項目名	説明
①	メタデータ規格入力欄	前の画面から遷移します。メタデータ規格を入力します。各項目の詳細については「8.1.26 メタデータの情報:メタデータ規格」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面[メタデータ情報画面 2]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面に戻ります。

6.34. メタデータ情報画面 2 (メタデータの情報：その他の情報画面)

その他のメタデータ情報を入力する画面です。

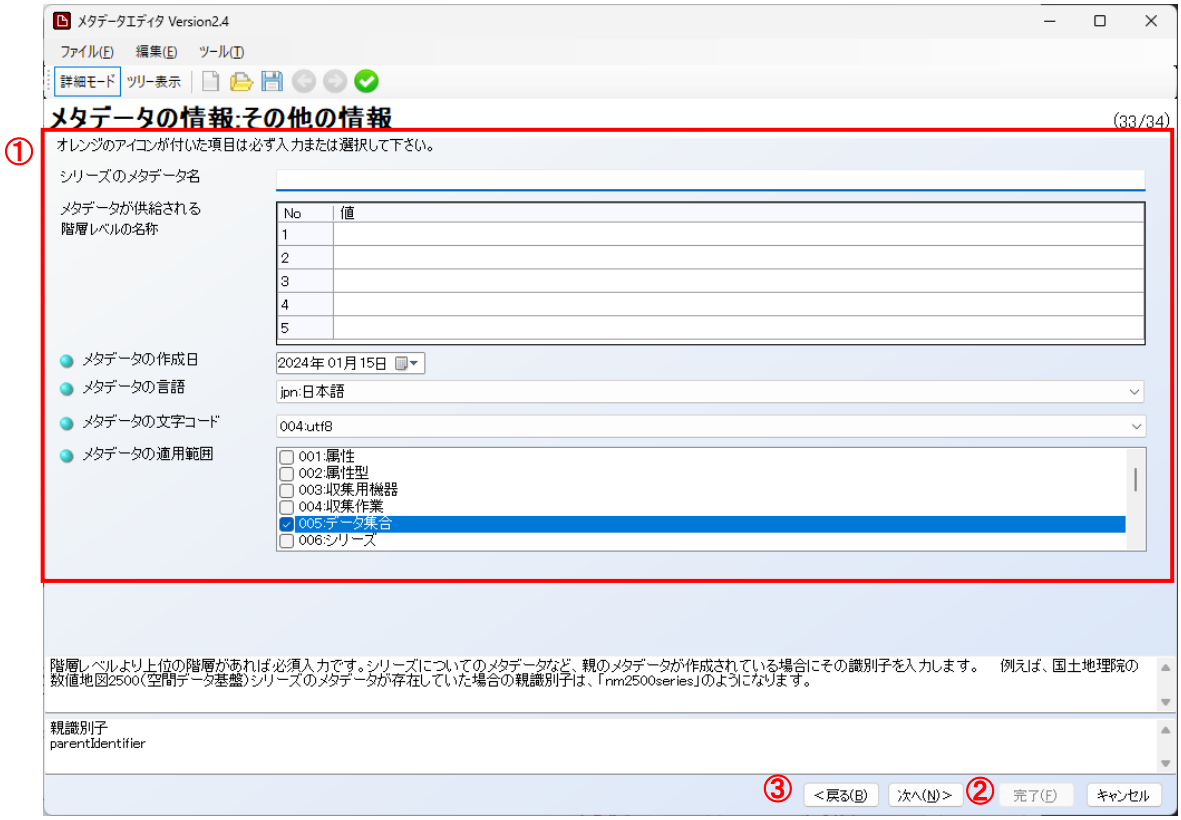


図 6.34-1 メタデータ情報画面 2

表 6.34-1 メタデータ情報画面 2 の構成

項番	項目名	説明
①	その他の情報入力欄	前の画面[メタデータ情報画面 1]から遷移します。各項目の詳細については「8.1.27 メタデータの情報:その他の情報」をご参照ください。
②	[次へ]ボタン	クリックすると、次の画面[メタデータ作成完了画面]に遷移します。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面[メタデータ情報画面 1]に戻ります。

6.35. メタデータ作成完了画面

詳細入力モードの完了画面です。メタデータチェックの結果を確認します。

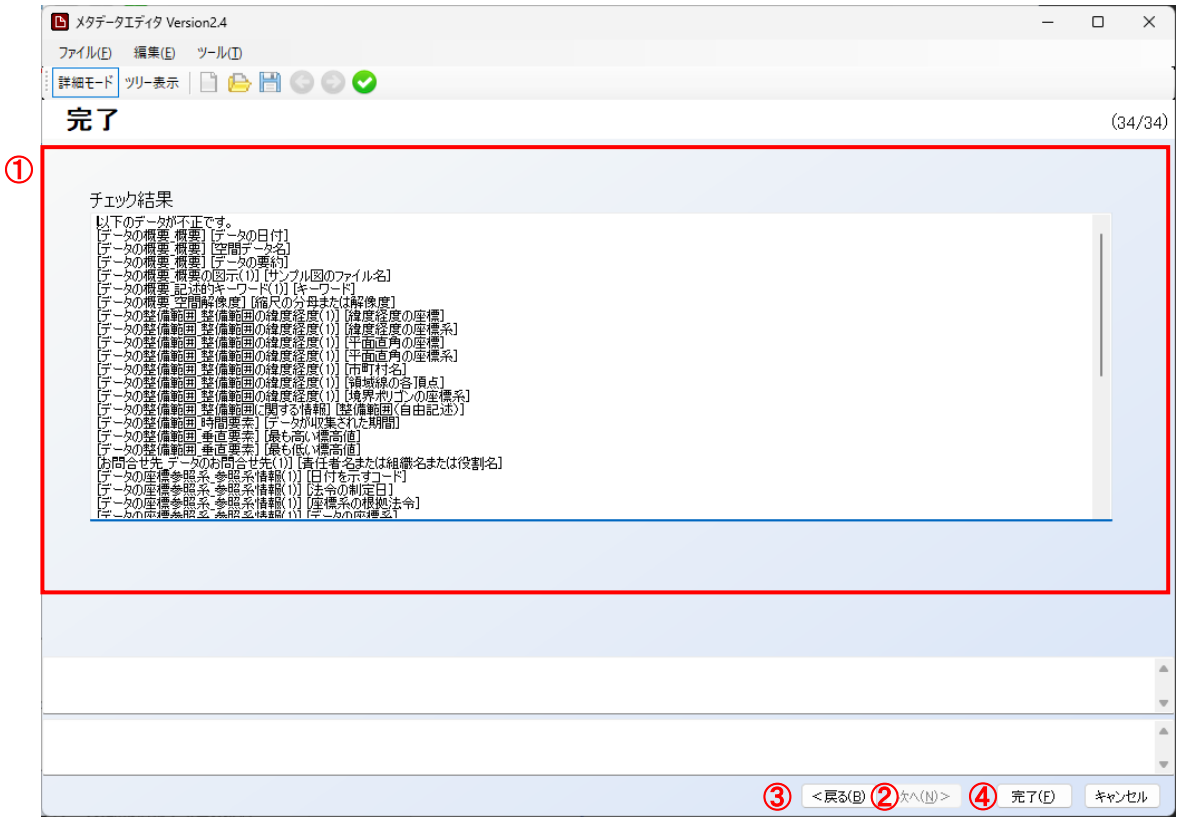


図 6.35-1 メタデータ作成完了画面

表 6.35-1 メタデータ作成完了画面の構成

項番	項目名	説明
①	メタデータ作成完了欄	前の画面[メタデータ情報画面 2]から遷移します。遷移すると同時に、メタデータチェックを実行し、チェック結果をメタデータ作成完了欄に表示します。
②	[次へ]ボタン	グレーアウトしていて選択できません。
③	[戻る]ボタン	クリックすると、前の画面[メタデータ情報画面 2]に戻ります。
④	[完了]ボタン	クリックすると、名前を付けて保存画面が表示されます。

6.36. チェック結果画面

メタデータチェックの結果を確認します。

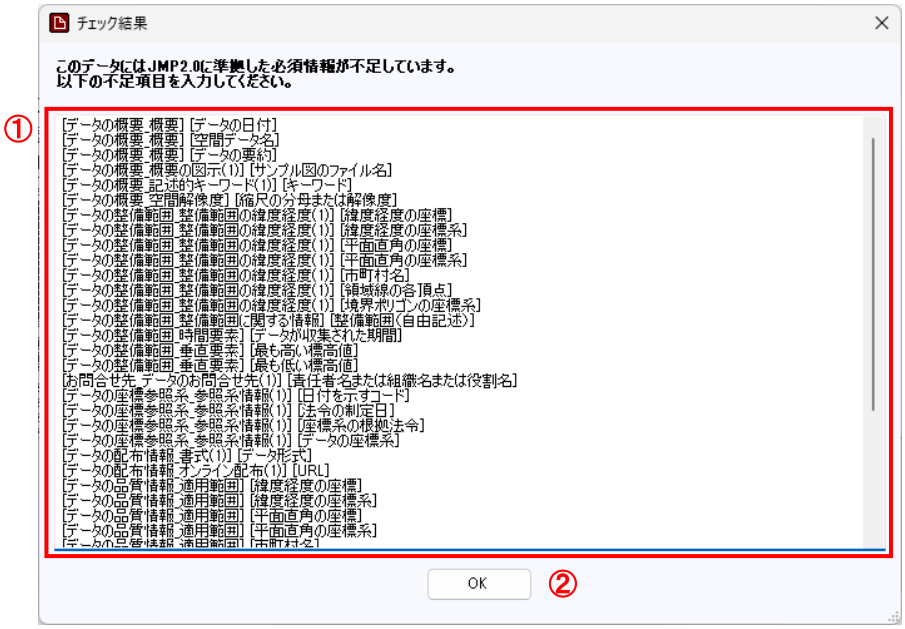


図 6.36-1 チェック結果画面

表 6.36-1 チェック結果画面の構成

項番	項目名	説明
①	チェック結果表示欄	メタデータチェックの実行結果を表示します。未入力の必須項目名や JMP2.0 の文法エラーの項目を示します。JMP2.0 ファイルとして必要な項目が全て正しく入力された場合は、「メタデータは正しく入力されています。」メッセージが表示されます。
②	[OK]ボタン	クリックするとチェック結果画面が閉じます。

6.37. レイアウト印刷画面

レイアウト印刷のプレビューを確認します。

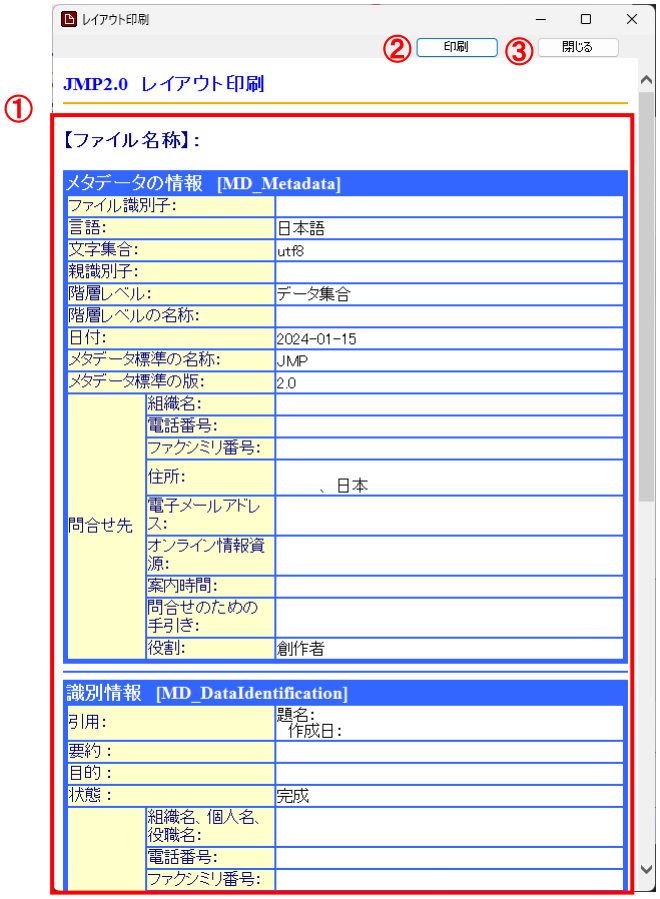


図 6.37-1 レイアウト印刷画面

表 6.37-1 レイアウト印刷画面の構成

項番	項目名	説明
①	レイアウト印刷欄	作成中の JMP2.0 の各項目がレイアウト表示されます。
②	[印刷]ボタン	印刷画面が表示されます。
③	[閉じる]ボタン	レイアウト印刷画面が閉じます。

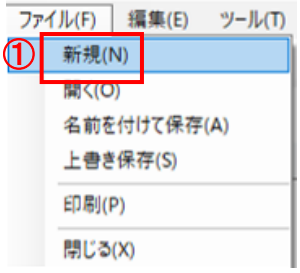
7. 各種機能

7.1. 新規作成

JMP2.0 を新規作成する場合は、以下の操作を行います。

①[ファイル] > [新規]　を選択します。（起動時も同様）

※ ボタン押下時と同じ動きになります。

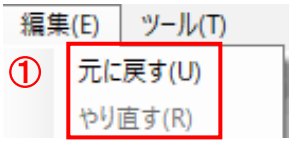


入力済みの値がすべて初期化されます。初期値や候補値(コード)が決まっている項目には、外部ファイルから初期値、候補値が取得され、新規入力画面が表示されます。

本システム起動時は、初期化された状態です。

7.2. 元に戻す/やり直す

入力を元に戻す/やり直すには、以下の操作を行います。



①[表示] > [元に戻す]を選択します。
※ボタン押下時と同じ動きになります。

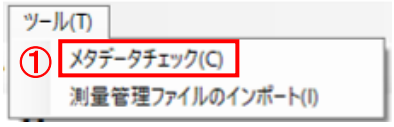
操作を元に戻します。10 回前の操作まで戻すことができます。

[表示] > [やり直す]を行います。
※ボタン押下時と同じ動きになります。

操作をやり直します。[元に戻す]を一度も実行していない場合はグレーアウトして選択できません。操作のやり直しは最大 10 回までです。

7.3. メタデータチェック

作成中のメタデータに入力不足がないかをチェックするには、以下の操作を行います。



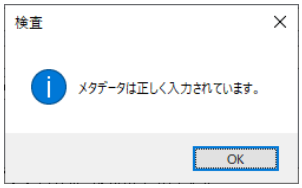
①[ツール] > [メタデータチェック]を選択します。
※ボタン押下時と同じ動きになります。

メタデータの入力がチェックされ、結果がメッセージ画面に表示されます。

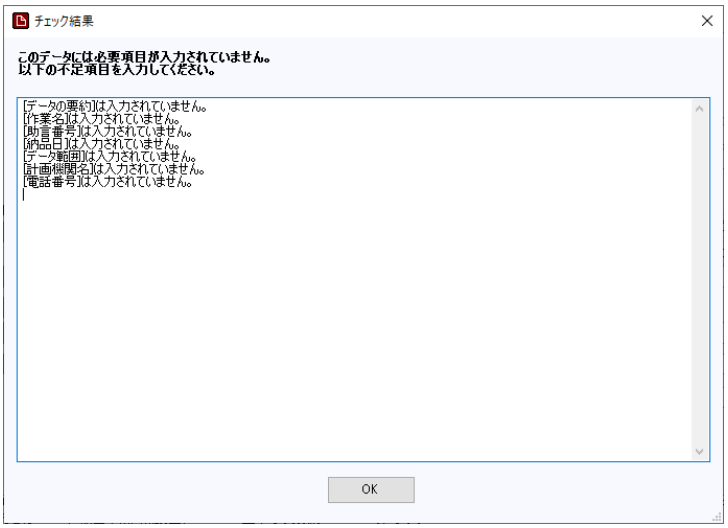
[基本入力モードの場合]
基本入力モードで選択された場合は、入力・未入力のチェック結果が表示されます。

[詳細入力モードの場合]
詳細入力モードで選択された場合は、必要項目の記入漏れについて検査されます。検査結果で必要項目がすべて記載されている場合は正常メッセージが表示されます。必要項目の入力が不足している場合は、警告メッセージ画面に入力が不足している項目名が記載されます。

■メタデータチェック結果　OK の場合



■メタデータチェック結果　NG の場合

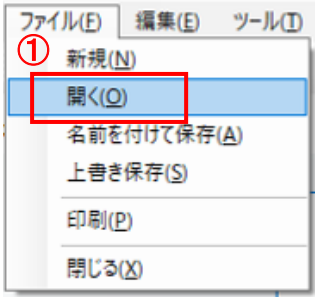


7.4. JMP2.0 の再編集

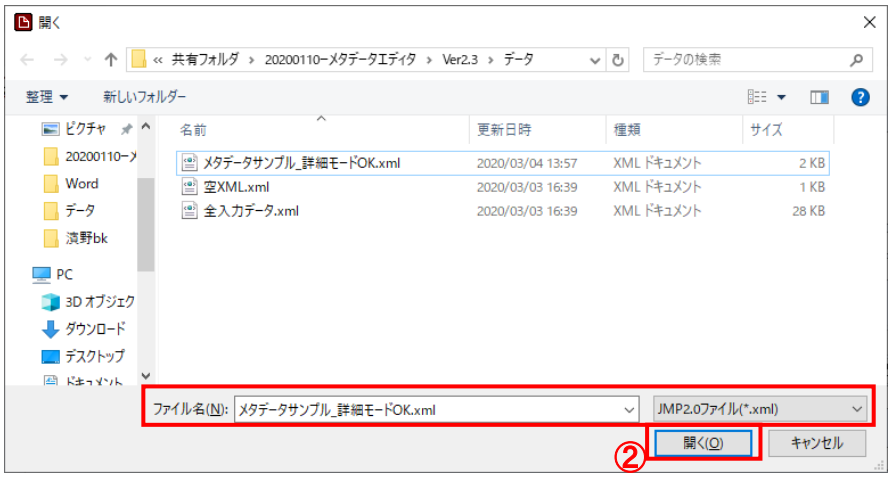
保存した JMP2.0 形式のファイルを開いて再編集するには、以下の手順で操作を行います。

①[ファイル] > [開く]を選択します。
※ボタン押下時と同じ動きになります。

ファイル選択画面が表示されます。



②下記の項目を設定し、[開く]ボタンを押下します。
ファイルの場所：ファイルの保存場所
ファイル名：開くファイル
ファイルの種類：JMP2.0 ファイル(*.xml)

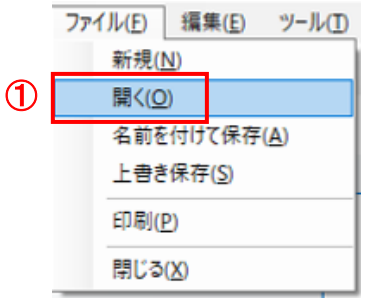


指定した JMP2.0 ファイルから、該当項目の値が抽出され基本項目入力画面が表示されます。指定したファイルが XML の構文エラーである場合や JMP2.0 ではない場合は、エラーメッセージが表示されます。

7.5. CSV ファイルを開く

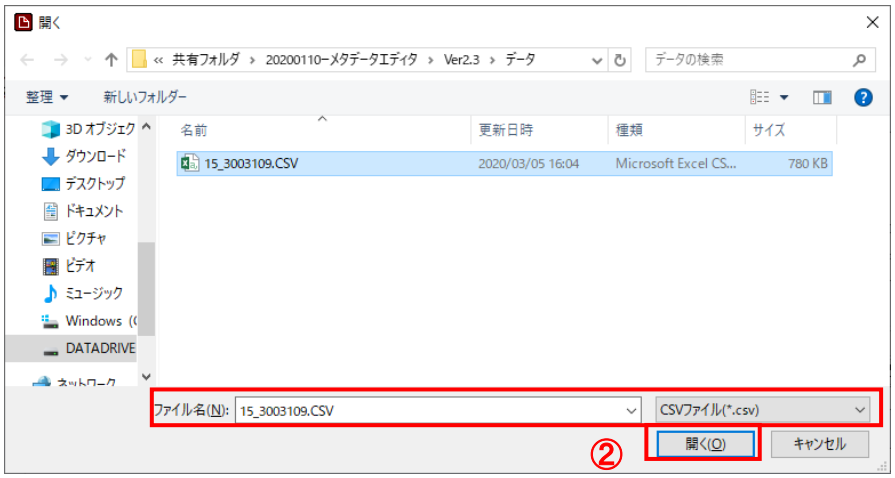
CSV ファイルをインポートするには、以下の手順で操作を行います。

①[ファイル] > [開く]を選択します。
※ボタン押下時と同じ動きになります。

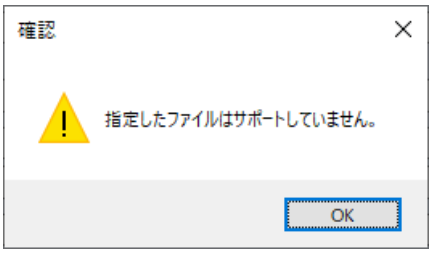


ファイル選択画面が表示されます。

②下記の項目を設定し、[開く]ボタンを押下します。
　ファイルの場所：ファイルの保存場所
　ファイル名：開くファイル
　ファイルの種類：CSV ファイル(*.csv)



JMP2.0 に準拠した内容の CSV ファイルから、該当項目の値が抽出されて基本項目入力画面が表示されます。指定するファイルは、本エディタで保存した CSV ファイルである必要があります。指定したファイルが不適切だった場合は、エラーメッセージが表示されます。

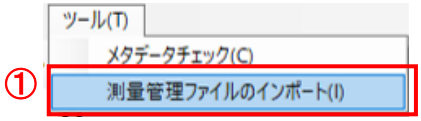


7.6. 測量情報管理ファイルインポート

測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)をインポートするには、以下の手順で操作を行います。

①[ツール] > [測量情報ファイルのインポート]を選択します。

ファイル選択画面が表示されます。



②下記の項目を設定し、[開く]ボタンを押下します。

ファイルの場所：ファイルの保存場所

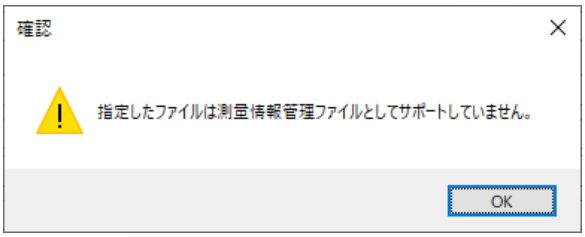
ファイル名：開くファイル

ファイルの種類：測量情報管理ファイル(*.xml)

ファイルの種類で[測量情報管理ファイル(*.xml)]を選択した場合に実行されます。測量情報管理ファイルから該当項目の値が抽出され基本項目入力画面が表示されます。

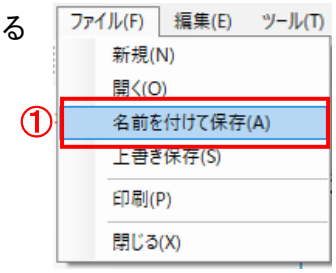
※抽出項目については「8.2 測量情報管理ファイル(survey.xml)項目対応」をご参照ください。

指定したファイルが不適切だった場合は、エラーメッセージが表示されます。

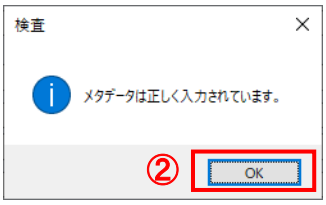


7.7. 保存

JMP2.0 ファイルを保存するには、以下の手順で操作します。ファイルの種類は、JMP2.0 ファイル(*.xml)と CSV ファイル(*.csv)から選択することができます。



① [ファイル] > [名前を付けて保存]を選択します。
メタデータチェックが実行され、実行結果がメッセージ画面に表示されます。

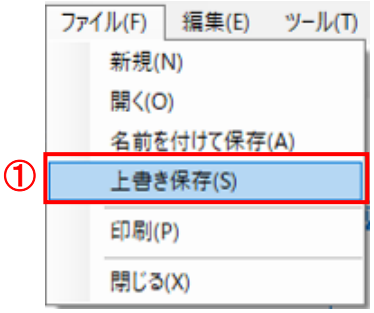


②メッセージ画面で[OK]ボタンを押下します。
名前を付けて保存画面が表示されます。

③下記項目を設定し、[保存]ボタンを押下します。
保存する場所：保存するフォルダ
ファイルの種類：JMP2.0 ファイル(*.xml)と CSV ファイル(*.csv)から選択
ファイル名：保存するファイル名

指定した場所に指定したファイルの種類、ファイル名で JMP2.0 形式のファイルが保存されます。ファイル名+拡張子が指定した保存場所に既に存在する場合は、上書き確認メッセージが表示されます。

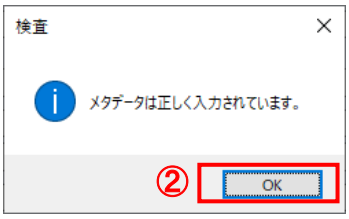
再編集中の JMP2.0 形式のファイルを上書き保存するには、以下の手順で操作します。



①[ファイル] > [上書き保存]

※ボタン押下時と同じ動きになります。

メタデータチェックが実行され、実行結果が
メッセージ画面に表示されます。



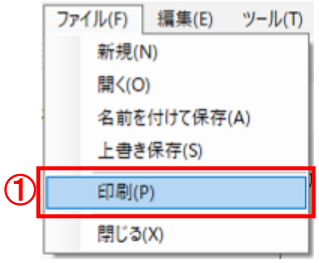
②メッセージ画面で[OK]ボタンを押下します。

ファイルが上書き保存されます。未保存の場合に、保存が選択された場合は[名前を付けて保存]と同じ動きになります。

7.8. 印刷

JMP2.0 形式を専用レイアウトで印刷する場合は、以下の操作を実行します。

①[ファイル] > [印刷]を選択します。
JMP2.0 印刷プレビュー画面が表示されます。



② [印刷]ボタンを押下します。

印刷画面が表示されます。印刷画面でプリンタを選択して、[印刷]ボタンを押下すると、印刷が実行されます。

8. 各項目解説

8.1. 各画面入力項目

メタデータエディタの各画面で入力することができる JMP2.0 の項目について、以下の表に示します。

※灰色の網掛けは、画面上に表示されていない項目を指します。
※「No.項目名」フィールドの「No.」は、JMP2.0 仕様書 4 章の定義表の No.と対応しています。
※「必須」フィールドの記号の意味は以下の通りです。
〇：必須項目、△：ページを開いたときに必須になる項目、☆：条件付き必須
※「設定番号」は、format.csv の番号フィールドと対応しています。

8.1.1. 基本項目入力

基本項目入力画面で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-1 基本項目入力画面入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
〇	18.要約	データの要約	テキストボックス				1001
〇	123.タイトル	作業名	テキストボックス				1003
〇	2.ファイル識別子	助言番号	テキストボックス				1157
〇	145.日付	納品日	カレンダー			1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	1004
－	*146.日付型*	*日付を示すコード*	*ドロップダウンリスト*	*CI_DateTypeCode.csv*	*001(作成日)*		*1005*
－	*30.主題分類(N)*	*データ分類*	*チェックボックスリスト*	*MD_TopicCategoryCode.csv*	*013(位置)*		*1007*
〇	104.西側境界経度	西側境界経度	テキストボックス			-90～90 の範囲で入力可能	1027
〇	105.東側境界経度	東側境界経度	テキストボックス			-90～90 の範囲で入力可能	1028
〇	106.南側境界緯度	南側境界緯度	テキストボックス			-180～180 の範囲で入力可能	1029
〇	107.北側境界緯度	北側境界緯度	テキストボックス			-180～180 の範囲で入力可能	1030

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
○	78.符号	座標系	ドロップダウンリスト(直接入力可能)				1034
○	109.西側境界座標	西側境界座標	テキストボックス				1036
○	110.東側境界座標	東側境界座標	テキストボックス				1037
○	111.南側境界座標	南側境界座標	テキストボックス				1038
○	112.北側境界座標	北側境界座標	テキストボックス				1039
○	78.符号	座標系	ドロップダウンリスト(直接入力可能)				1043
○	78.符号	市町村名	テキストボックス	MD_AddressCity.csv		[・・・]ボタンを押下して市町村選択画面を表示し都道府県、市町村を選択すると、都道府県名と市町村名が一つになって入力される。	1048
○	127.組織名	計画機関名	テキストボックス				1062
－	*130.役割*	*役割*	*ドロップダウンリスト*	*CI_RoleCode.csv*	*006(創作者)*		*1064*
○	151.電話番号(1)	電話番号	テキストボックス				1065

8.1.2. データの概要:概要

データの概要画面 1 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-2 データの概要画面 1 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
○	18.要約	データの要約	テキストボックス				1
○	28.言語(1)	データの言語	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	MD_LanguageCode.csv	jpn(日本語)		2
○	123.タイトル	空間データ名(作業名)	テキストボックス				3
○	145.日付	データの日付(納品日)	カレンダー			1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	4
○	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv	001(作成日)		5
○	29.文字集合(1)	データの文字コード	ドロップダウンリスト	MD_CharacterSetCode.csv	shiftJIS		6

8.1.3. データの概要:主題分類

データの概要画面 2 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-3 データの概要画面 2 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
○	30.主題分類(N)	データ分類	チェックボックスリスト	MD_TopicCategoryCode.csv	013(位置)	013(位置)のチェックは外せない	7

8.1.4. データの概要:目的と状態

データの概要画面 4 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-4 データの概要画面 4 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
－	19.目的	データの目的	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	MD_Purpose.csv			8
－	20.状態(N)	作業状況	チェックボックスリスト	MD_ProgressCode.csv	001(完成)		9

8.1.5. データの概要:概要の図示

データの概要画面 5 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-5 データの概要画面 5 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
△	34.ファイル名	サンプル図のファイル名	テキストボックス				10
－	35.ファイル記述	サンプル図の説明	テキストボックス				11
－	36.ファイル型	サンプル図のファイル形式	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	MD_BrowseGraphicType.csv			12

8.1.6. データの概要:記述的キーワード

データの概要画面 6 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-6 データの概要画面 6 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
△	38.キーワード(10)	キーワード	テキストボックス				13
–	39.型	キーワード分類	ドロップダウンリスト	MD_KeywordTypeCode.csv			14

8.1.7. データの概要:利用制限

データの概要画面 7 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-7 データの概要画面 7 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
–	46.利用制限(1)	データの利用制限	テキストボックス		測量法第43 条及び44 条の規定による。		15

8.1.8. データの概要:空間解像度

データの概要画面 8 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-8 データの概要画面 8 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
–	26.空間表現型(N)	データの形式	チェックボックスリスト	MD_SpatialRepresentationTypeCode.csv			16
☆/△	41.分母	縮尺の分母	テキストボックス				17
☆/△	44.距離	解像度(m)	テキストボックス				18
–	*44.距離*	*距離単位*	*ドロップダウンリスト*	*UoMNameCode.csv*	*メートル*		*19*
–	*44.距離*	*単位種類*	*ドロップダウンリスト(直接入力可能)*	*UoMType.csv*	*長さ*		*20*

※分母・距離は何れか一つ必須

8.1.9. データの整備範囲:整備範囲の緯度経度情報

データの整備範囲画面 1 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-9 データの整備範囲画面 1 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
☆	102.境界ポリゴン(1)	領域線の各頂点	リストボックス				21
－	123.タイトル	座標系の根拠法令	ドロップダウンリスト(直接入力可能)		「符号」とセット		22
－	145.日付	法令の制定日	カレンダー		「符号」とセット	1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	23
－	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv	「符号」とセット		24
☆	78.符号	座標系	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_CoordinateHorizontalCode.csv			25
－	99.範囲型符号	範囲内にデータが含まれるか	ドロップダウンリスト	EX_ExTypeCode.csv	1(内部)		26
☆	104.西側境界経度	西側境界経度	テキストボックス			-90～90 の範囲で入力可能	27
☆	105.東側境界経度	東側境界経度	テキストボックス			-90～90 の範囲で入力可能	28
☆	106.南側境界緯度	南側境界緯度	テキストボックス			-180～180 の範囲で入力可能	29
☆	107.北側境界緯度	北側境界緯度	テキストボックス			-180～180 の範囲で入力可能	30
－	123.タイトル	座標系の根拠法令	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_AuthorityTitle.csv	「符号」とセット		31
－	145.日付	法令の制定日	カレンダー	EX_AuthorityDate.csv	「符号」とセット	1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	32
－	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv	「符号」とセット		33
☆	78.符号	座標系	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_HorizontalCode.csv			34
－	99.範囲型符号	範囲内にデータが含まれるか	ドロップダウンリスト	EX_ExTypeCode.csv	1(内部)		35
☆	109.西側境界座標	西側境界座標	テキストボックス				36
☆	110.東側境界座標	東側境界座標	テキストボックス				37
☆	111.南側境界座標	南側境界座標	テキストボックス				38

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
☆	112.北側境界座標	北側境界座標	テキストボックス				39
－	123.タイトル	座標系の根拠法令	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_AuthorityTitle.csv	「符号」とセット		40
－	145.日付	法令の制定日	カレンダー	EX_AuthorityDate.csv	「符号」とセット	1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	41
－	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv	「符号」とセット		42
☆	78.符号	座標系	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_CoordinateCode.csv			43
－	99.範囲型符号	範囲内にデータが含まれるか	ドロップダウンリスト	EX_ExTypeCode.csv	1（内部）		44
－	123.タイトル	地理的記述に使った地名集の名称	テキストボックス	EX_AuthorityTitle.csv			45
－	145.日付	地名集の日付	カレンダー	EX_AuthorityDate.csv		1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	46
－	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv			47
－	78.符号	市町村名	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	MD_AddressCity.csv		[･･･]ボタンを押下して市町村選択画面を表示し都道府県、市町村を選択すると、都道府県名と市町村名が一つになって入力される。	48

※地理境界ボックス、座標境界ボックス、地理記述、境界ポリゴンは何れか一つ必須。

8.1.10. データの整備範囲:整備範囲に関する情報

データの整備範囲画面 3 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-10 データの整備範囲画面 3 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
△	94.記述	整備範囲（自由記述）	テキストボックス				50

8.1.11. データの整備範囲:時間要素

データの整備範囲画面 4 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-11 データの整備範囲画面 4 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
△	116.範囲	開始日	カレンダー			1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	51
△	116.範囲	終了日	カレンダー			1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	52

8.1.12. データの整備範囲:垂直要素

データの整備範囲画面 5 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-12 データの整備範囲画面 5 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
△	118.最低値	最も低い標高値	テキストボックス				53
△	119.最高値	最も高い標高値	テキストボックス				54
△	120.計測単位	計測単位	ドロップダウンリスト (直接入力可能)	UoMNameCode_Length.csv	メートル		55
－	120.計測単位	単位種類	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	UoMType.csv	高さ		56
△	123.タイトル	高さの基準の根拠	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_AuthorityTitle.csv	測量法(昭和 24 年 6 月 3 日法律第 188 号)		57
△	145.日付	法令の制定日	カレンダー	EX_AuthorityDate.csv	1949/06/03	1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	58
△	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv	001(作成日)		59
△	78.符号	高さの基準	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	SC_VerticalDatum.csv	TP / H:(東京湾平均海面)		60

8.1.13. お問合せ先:メタデータのお問合せ先

お問い合わせ先画面 1 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-13 お問い合わせ先画面 1 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
－	126.個人名	責任者名	テキストボックス				61
－	127.組織名	組織名(計画機関名)	テキストボックス				62
－	128.役職名	役割名	テキストボックス				63
○	130.役割	役割	ドロップダウンリスト	CI_RoleCode.csv	06(創作者)		64
－	151.電話番号(1)	電話番号	テキストボックス				65
－	152.ファクシミリ番号(1)	ファクシミリ番号	テキストボックス				66
－	132.住所詳細(1)	住所詳細	テキストボックス				67
－	133.市区町村	市区町村	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	MD_AddressCity.csv		「都道府県名」とセット	68
－	134.都道府県名	都道府県名	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	MD_AddressPref.csv			69
－	135.郵便番号	郵便番号	テキストボックス				70
－	136.国	国	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	CI_CountryCode.csv	jpn(日本)		71
－	137.電子メールアドレス(1)	電子メールアドレス	テキストボックス				72
－	148.リンク	URL	テキストボックス				73
－	149.記述	URL の内容	テキストボックス				74
－	142.案内時間	案内時間	テキストボックス				75
－	143.問合せのための手引き	問合せのための手引き	テキストボックス				76

8.1.14. お問合せ先:データのお問合せ先

お問い合わせ先画面 3 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-14 お問い合わせ先画面 3 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
☆/△	126.個人名	責任者名	テキストボックス				77
☆/△	127.組織名	組織名	テキストボックス				78
☆/△	128.役職名	役割名	テキストボックス				79
△	130.役割	役割	ドロップダウンリスト	CI_RoleCode.csv	06(創作者)		80
–	151.電話番号(1)	電話番号	テキストボックス				81
–	152.ファクシミリ番号(1)	ファクシミリ番号	テキストボックス				82
–	132.住所詳細(1)	住所詳細	テキストボックス				83
–	133.市区町村	市区町村	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	MD_AddressCity.csv		「都道府県名」とセット	84
–	134.都道府県名	都道府県名	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	MD_AddressPref.csv			85
–	135.郵便番号	郵便番号	テキストボックス				86
–	136.国	国	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	CI_CountryCode.csv	jpn(日本)		87
–	137.電子メールアドレス(1)	電子メールアドレス	テキストボックス				88
–	148.リンク	URL	テキストボックス				89
–	149.記述	URL の内容	テキストボックス				90
–	142.案内時間	案内時間	テキストボックス				91
–	143.問合せのための手引き	問合せのための手引き	テキストボックス				92

※個人名、組織名、役割名は何れか一つ必須

8.1.15. データの座標参照系:参照系情報

データの座標参照系画面 2 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-15 データの座標参照系画面 2 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
－	123.タイトル	座標系の根拠法令	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_AuthorityTitle.csv	「符号」とセット		93
－	145.日付	法令の制定日	カレンダー	EX_AuthorityDate.csv	「符号」とセット	1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	94
－	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv	「符号」とセット		95
△	78.符号	データの座標系	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_CoordinateHorizontalCode.csv			96

8.1.16. データの配布情報:書式

データの配布情報画面 2 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-16 データの配布情報画面 2 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
△	87.書式名	データ形式	テキストボックス				97
△	88.バージョン	データ形式のバージョン	テキストボックス		不明		98

8.1.17. データの配布情報:オンライン配布

データの配布情報画面 3 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-17 データの配布情報画面 3 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
△	148.リンク	URL	テキストボックス				99
ー	149.記述	URL の内容	テキストボックス				100

8.1.18. データの配布情報:オフライン配布

データの配布情報画面 4 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-18 データの配布情報画面 4 入力項目

必須	No.項目名	別名（GUI に利用）	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
―	90.媒体名	配布するメディア	ドロップダウンリスト	MD_MediumNameCode.csv			101
―	92.媒体の注意事項	配布するメディアの注意事項	テキストボックス				102

8.1.19. データの品質情報:レベル

データの品質情報画面 2 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-19 データの品質情報画面 2 入力項目

必須	No.項目名	別名（GUI に利用）	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
△	68.レベル	品質情報の適用範囲	ドロップダウンリスト	MD_ScopeCode.csv	005（データ集合）		103
－	70.レベル記述	適用範囲の名称	テキストボックス				104

8.1.20. データの品質情報:適用範囲

データの品質情報画面 3 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-20 データの品質情報画面 3 入力項目

必須	No.項目名	別名（GUI に利用）	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
☆/△	102.境界ポリゴン（1）	領域線の各頂点	リストボックス				105
－	123.タイトル	座標系の根拠法令	ドロップダウンリスト（直接入力可能）	EX_AuthorityTitle.csv	「符号」とセット		106
－	145.日付	法令の制定日	カレンダー	EX_AuthorityDate.csv	「符号」とセット	1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	107
－	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv	「符号」とセット		108
☆/△	78.符号	地理境界の座標参照系	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_CoordinateHorizontalCode.csv			109
－	99.範囲型符号	範囲内にデータが含まれるか	ドロップダウンリスト	EX_ExTypeCode.csv	1（内部）		110
☆/△	104.西側境界経度	西側境界経度	テキストボックス			-90～90 の範囲で入力可能	111

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
☆/△	105.東側境界経度	東側境界経度	テキストボックス			-90～90 の範囲で入力可能	112
☆/△	111.南側境界緯度	南側境界緯度	テキストボックス			-180～180 の範囲で入力可能	113
☆/△	107.北側境界緯度	北側境界緯度	テキストボックス			-180～180 の範囲で入力可能	114
-	123.タイトル	座標系の根拠法令	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_AuthorityTitle.csv	「符号」とセット		115
-	145.日付	法令の制定日	カレンダー	EX_AuthorityDate.csv	「符号」とセット	1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	116
-	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv	「符号」とセット		117
☆/△	78.符号	座標系	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_HorizontalCode.csv			118
-	99.範囲型符号	範囲内にデータが含まれるか	ドロップダウンリスト	EX_ExTypeCode.csv	1(内部)		119
☆/△	109.西側境界座標	西側境界座標	テキストボックス				120
☆/△	110.東側境界座標	東側境界座標	テキストボックス				121
☆/△	111.南側境界座標	南側境界座標	テキストボックス				122
☆/△	112.北側境界座標	北側境界座標	テキストボックス				123
-	123.タイトル	座標系の根拠法令	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_AuthorityTitle.csv	「符号」とセット		124
-	145.日付	法令の制定日	カレンダー	EX_AuthorityDate.csv	「符号」とセット	1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	125
-	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv	「符号」とセット		126
☆/△	78.符号	座標系	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_CoordinateCode.csv			127
-	99.範囲型符号	範囲内にデータが含まれるか	ドロップダウンリスト	EX_ExTypeCode.csv	1(内部)		128
-	123.タイトル	地理的記述に使った地名集の名称	テキストボックス	EX_AuthorityTitle.csv			129
-	145.日付	地名集の日付	カレンダー	EX_AuthorityDate.csv		1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	130
-	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv			131

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
－	78.符号	市町村名	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	MD_Address City.csv		[・・・]ボタンを押下して市町村選択画面を表示し都道府県、市町村を選択すると、都道府県名と市町村名が一つになって入力される。	132
－	99.範囲型符号	範囲内にデータが含まれるか	ドロップダウンリスト	EX_ExTypeCode.csv	1（内部）		133

※地理境界ボックス、座標境界ボックス、地理記述、境界ポリゴンは何れか一つ必須。

8.1.21. データの品質情報:適用範囲に関する情報

データの品質情報画面 4 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-21 データの品質情報画面 4 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
△	94.記述	整備範囲に関する情報	テキストボックス				134

8.1.22. データの品質情報:時間要素

データの品質情報画面 5 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-22 データの品質情報画面 5 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
△	116.範囲	開始日	カレンダー			1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	135
△	116.範囲	終了日	カレンダー			1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	136

8.1.23. データの品質情報:垂直要素

データの品質情報画面 6 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-23 データの品質情報画面 6 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
△	118.最低値	最も低い標高値	テキストボックス				137
△	119.最高値	最も高い標高値	テキストボックス				138
△	120.計測単位	計測単位	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	UoMNameCode_Length.csv	メートル		139
–	120.計測単位	単位種類	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	UoMType.csv	高さ		140
△	123.タイトル	高さの基準の根拠	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	EX_AuthorityTitle.csv	測量法(昭和 24 年 6 月 3 日法律第 188 号)		141
△	145.日付	法令の制定日	カレンダー	EX_AuthorityDate.csv	1949/06/03	1900/1/1～2999/12/31 のみ入力可能。	142
△	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv	001(作成日)		143
△	78.符号	高さの基準	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	SC_VerticalDatum.csv	TP / H:(東京湾平均海面)		144

8.1.24. データの品質情報:報告

データの品質情報画面 7 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-24 データの品質情報画面 7 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
－	54.評価手法の記述	評価手法に関する情報	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	DQ_MethodDescription.csv	製品仕様書に従った適合性評価を行った。		145
△	56.データ品質要素型	データ品質要素型	ドロップダウンリスト	DQ_TypeOfQualityEvaluationCode.csv	007(位置正確度/絶対正確度又は外部正確度)		146
☆/△	123.タイトル	測量に使用した作業規程・製品仕様書等	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	DQ_SpecificTitle.csv			147
☆/△	145.日付	測量に使用した作業規程・製品仕様書等の日付	カレンダー			1900/1/1～2999/12/31のみ入力可能。	148
☆/△	146.日付型	日付を示すコード	ドロップダウンリスト	CI_DateTypeCode.csv			149
☆/△	61.説明	結果に対する適合性の説明	テキストボックス		測量法第 33 条による。また，当該測量に適した観測機械の種類，観測方法及び計算方法等を規定した測量作業規程に基づいて作業が行われているか否かについて審査を行った。		150
☆/△	62.合否	適合性の結果	ドロップダウンリスト	dqResultPassCode.csv	1(合格)		151
☆/△	120.計測単位	測定値の単位	ドロップダウンリスト	UoMNameCode.csv			152
－	120.計測単位	測定値の単位種類	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	UoMType.csv			153
－	65.誤差統計	使用した統計的手法	テキストボックス				154
☆/△	66.測定値(5)	測定値	リストボックス				155

8.1.25. データの品質情報:系譜

データの品質情報画面 8 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-25 データの品質情報画面 8 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
－	52.説明	測量に使用した元データの概要等	テキストボックス				156

8.1.26. メタデータの情報:メタデータ規格

メタデータ情報画面 1 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-26 メタデータ情報画面 1 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
－	2.ファイル識別子	メタデータ名(助言番号)	テキストボックス				157
－	10.メタデータの規格名称	メタデータ形式	テキストボックス		JMP		158
－	11.メタデータの版	メタデータ形式のバージョン	テキストボックス		2.0		159

8.1.27. メタデータの情報:その他の情報

メタデータ情報画面 2 で入力する項目は以下の通りです。

表 8.1-27 メタデータ情報画面 2 入力項目

必須	No.項目名	別名 (GUI に利用)	コントロール	候補値	初期値	備考	設定番号
－	5.親識別子	シリーズのメタデータ名	テキストボックス				160
－	7.階層レベル名(5)	メタデータが供給される階層レベルの名称	リストボックス				161
○	9.日付	メタデータの作成日	カレンダー		システム日付		162
○	3.言語	メタデータの言語	ドロップダウンリスト(直接入力可能)	MD_LanguageCode.csv	jpn(日本語)		163
○	4.文字集合	メタデータの文字コード	ドロップダウンリスト	MD_CharacterSetCode_mdChar.csv	004(utf8)		164
○	6.階層レベル(N)	メタデータの適用範囲	チェックボックスリスト	MD_ScopeCode.csv	005(データ集合)		165

8.2. 測量情報管理ファイル(survey.xml)項目対応

本システムでインポートする測量情報管理ファイルの項目は、以下の通りです。灰色網掛けは、JMP2.0 に該当する項目がないことを示します。

表 8.2-1 測量情報管理ファイル取得項目

No		SURVEYD03	SURVEYD02	JMP2.0 メタデータ	JMP2.0 タグ名	特記事項
1	基礎情報	*適用要領基準*	*適用要領*			
2		助言番号	助言番号	ファイル識別子	fileIdentifier	
3		作業規程名	作業規程名	データ品質情報/報告/適合性の結果/仕様/タイトル	title	
4		製品仕様書名	製品仕様書名または作業規程名	データ品質情報/報告/適合性の結果/仕様/タイトル	title	（No.3 を優先）
5		*製品仕様書ファイル名*				
6		*第三者機関成果検定の有無*				
7		*基準点測量成果格納用フォルダ名*	*基準点測量成果格納用フォルダ名*			
8		*水準測量成果格納用フォルダ名*	*水準測量成果格納用フォルダ名*			
9		*地形測量及び写真測量成果格納用フォルダ名*	*地形測量成果格納用フォルダ名*			
10		*路線測量成果格納用フォルダ名*	*路線測量成果格納用フォルダ名*			
11		*河川測量成果格納用フォルダ名*	*河川測量成果格納用フォルダ名*			
12		*用地測量成果格納用フォルダ名*	*用地測量成果格納用フォルダ名*			
13		*その他の応用測量成果格納用フォルダ名*				
14		*ドキュメント格納用フォルダ名*	*ドキュメント格納用フォルダ名*			
15	測量情報	*測量区域番号*	*測量区域番号*			
16		測量区域名	測量区域名	識別情報/範囲/地理的記述/地理識別子/符号	code	5 つ目までを取得
17		区域情報/西側境界座標経度	区域情報/西側境界座標経度	識別情報/範囲/地理境界ボックス/西側境界経度	westBoundLongitude	5 つ目までを取得
18		区域情報/東側境界座標経度	区域情報/東側境界座標経度	識別情報/範囲/地理境界ボックス/東側境界経度	eastBoundLongitude	5 つ目までを取得
19		区域情報/北側境界座標緯度	区域情報/北側境界座標緯度	識別情報/範囲/地理境界ボックス/北側境界緯度	northBoundLatitude	5 つ目までを取得
20		区域情報/南側境界座標緯度	区域情報/南側境界座標緯度	識別情報/範囲/地理境界ボックス/南側境界緯度	southBoundLatitude	5 つ目までを取得

No		SURVEYD03	SURVEYD02	JMP2.0 メタデータ	JMP2.0 タグ名	特記事項
21		区域情報/平面直角座標系	区域情報/平面直角座標系	識別情報/範囲/座標境界ボックス/範囲参照系/符号	RS_Identifier	5 つ目までを取得
22		区域情報/西側境界平面直角座標	区域情報/西側境界平面直角座標	識別情報/範囲/座標境界ボックス/西側境界座標	westBoundCoordinate	5 つ目までを取得
23		区域情報/東側境界平面直角座標	区域情報/東側境界平面直角座標	識別情報/範囲/座標境界ボックス/東側境界座標	eastBoundCoordinate	5 つ目までを取得
24		区域情報/北側境界平面直角座標	区域情報/北側境界平面直角座標	識別情報/範囲/座標境界ボックス/北側境界座標	northBoundCoordinate	5 つ目までを取得
25		区域情報/南側境界平面直角座標	区域情報/南側境界平面直角座標	識別情報/範囲/座標境界ボックス/南側境界座標	southBoundCoordinate	5 つ目までを取得
26		*測量区分*	*測量区分*			
27		*測量細区分*	*測量細区分*			
28		*測量記録フォルダパス名*	*測量記録フォルダパス名*			
29		*測量成果フォルダパス名*	*測量成果フォルダパス名*			
30		*その他データフォルダパス名*	*その他データフォルダパス名*			
31		*測量区域 No*	*測量区域 No*			
32	等級情報	*等級*	*等級精度/等級*			
33		等級精度/地図情報レベル	等級精度/地図情報レベル	識別情報/空間解像度/等価縮尺/分母	denominator	最初の 1 つ目を取得
34		画像種別	画像種別			
35		解像度	解像度	識別情報/空間解像度/距離/値	value	(No.33 を優先) 最初の 1 つ目を取得
			アナログデジタル区分			
36		*新規修正区分*	*新規修正区分*			
37		*面積*	*面積*			
38		*距離*	*距離*			
39		*点数*	*点数*			
40		*モデル数*	*モデル数*			
41	その他	*測量成果検定証明書等のファイル名*				
42		*受注者説明文*	*受注者説明文*			
43		*予備*	*予備*			
44		*ソフトメーカ用 TAG*	*ソフトメーカ用 TAG*			

9. FAQ よくある質問

9.1. FAQ 集

1. 「メタデータエディタ Ver2.3」との主な違いは何ですか？

Microsoft 社のサポート終了 OS（Windows8）でのメタデータエディタ動作対象サポート除外と、現在の主流 OS である「Windows11 での動作対象サポート」が主なバージョンアップ内容になります。

また、それに伴い対応ミドルウェアフレームワークも「.NET Framework4.6.2」に変更されました。「.NET Framework4.6.2 互換機能」はメタデータエディタ Ver2.4 全ての動作対象 OS にて標準インストールされています。（2024 年 3 月時点における情報に基づきます）

2. 「メタデータエディタ Ver2.4」は Windows7 ならびに Windows8 でも動きますか？

「バージョン 4.6.2 以上の.NET Framework」がインストールや有効化されていれば動作する可能性があります。

ただし「Windwos7」において該当 Framework は標準インストールされていません。そのため Microsoft サポートからインストーラを入手する、等といった準備作業が必要となる場合があります。

いずれにしても Windows7 までの各種 Windows および Windows8 はメタデータエディタ Ver2.4 のサポート対象外になります事を御了承ください。

3. メタデータエディタ Ver2.4 をダウンロードして Ver2.0 で作成したデータを読み込み修正して上書き保存をして、再度修正しようとしてエディタを開いたところファイルを読み込むことができません。Ver2.4 で上書きされたため Ver2.0 ではないというメッセージが出ます。

旧バージョンのメタデータエディタのサイトでご案内しているとおり JMP2.0 メタデータエディタ（完全版）と公共測量用メタデータエディタ（Ver2.4）の間には、完全なる互換性はありません。恐れ入りますが、公共測量用メタデータエディタ Ver2.4 をダウンロードし、メタデータを作成してください。

4. 公共測量成果の提出を受けてメタデータファイルをメタデータエディタ Ver2.4 で開き確認しようとしたところファイルが開けませんでした。

JMP のバージョンとメタデータエディタのバージョンとを混同し、JMP2.3 や 2.4 としてしまっている可能性があります。以下の方法で確認、解消ください。
H25A**.xml ファイルをメモ帳などのテキストエディタで
開き一番下の行のバージョンを 2.?→2.0 に変更し保存する。
<metadataStandardVersion>2.4/metadataStandardVersion>
</MD_Metadata>
↓
<metadataStandardVersion>2.0</metadataStandardVersion>
</MD_Metadata>

5. メタデータエディタで改行して記述したところ、印刷プレビューでは改行されない。
ソフトウェアが印刷プレビューでは改行が無視され、1 行で書かれる仕様です。

6. 詳細モードに「データの配布情報：オンライン配布」という項目に入力した URL に、メタデータエディタから直接データをアップロードすることはできますでしょうか？
そのような機能はありません。

7. インストールしたメタデータエディタが動かない
御利用した環境が「1.2.1. クライアント環境」の要求事項を満たしていることをご確認ください。OS バージョンが特に重要となります。
また、動作対象 OS であっても何らかの事情により.NET Framework 機能が無効化されていますと起動に失敗します。

8. メタデータファイルを作成後に、データの内容を表示すると、入力事項は、日本語で表示されますが、質問事項は、英語で表示されてしまいます。全部を日本語表示させるには、どのようにすればよろしいでしょうか？
メタデータエディタで作成したファイルを Microsoft Edge やテキストエディタで表示していて、それに英語と日本語が入り交じっているとのことであれば、その英語は XML タグ、つまり機械やシステムが理解するための仕様規約の類いであり、アルファベットで表示されるのが正常であるため、問題にする必要はありません。